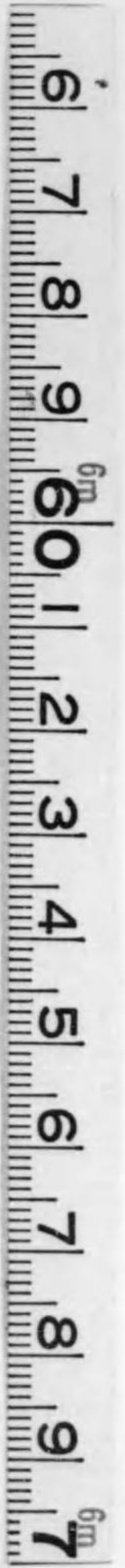


291.5

4



始



291.5
4

東京高等蠶絲學校一覽

大正三年十二月

東京高等蠶絲學校一覽

目次

一 沿革

一 學年曆

一 法令

專門學校令(抄)

實業學校令(抄)

文部省直轄諸學校官制中改正

文部省直轄諸學校專任職員定員令(抄)

文部省直轄學校外國人特別入學規程

臺灣人及朝鮮人特別入學ニ關スル件

一 本校規則

第一章 總則

目次



一〇〇九八八七七六六四一三八八

第二章	學科目及其程度並ニ卒業論文	一〇
第三章	學年、學期及休業日	一七
第四章	入學、在學、通學及懲戒	一八
第五章	修業及卒業	二二
第六章	特待生	二三
第七章	入學檢定手數料、授業料、及實習實驗費	二三
第八章	研究生	二六
第九章	選科生	二六
第十章	寄宿舍	二七
一 製絲教婦養成科規程		
第一章	總則	三六
第二章	學科目及其程度	三六
第三章	入學及在學	三八
第四章	入學檢定手數料及授業料	三九
二 諸規程		
本校處務規程		四三
成績考查規定		五四
授業料及實習實驗費ニ關スル細則		五七
選科生細則		五七
外國人特別入學細則		五八
學生、生徒心得		五九
學生、生徒服制		六〇
級長規程		六七
寄宿舍規程		六七
學生通學規程		七〇
圖書取扱規程		七一



一 職員	七三
一 學生、生徒	七八
一 卒業生	九〇

明治二十年四月名ヲ蠶業試驗場ト改稱セリ

明治二十三年ニ至リ傳習ノ程度ヲ高メ學期ヲ延長シ地方養蠶教師又ハ巡回教師タルヘキモノヲ養成シ以テ世ノ進運ニ協ハンコトヲ勉メタリ

明治二十四年三月農務 假試驗場蠶事部ト改稱セラレタリシカ同二十六年農事試驗場官制發布セラル、ニ及ヒ同部ハ舊ニ復シ蠶業試驗場ト稱スルニ至レリ

蠶業試驗場ハ上記ノ如ク去ル十七年蠶病試驗場トシテ創設セラレシ以來常ニ斯業ノ發達ト變遷ニ鑑ミ數回其組織ト設備ノ改善ヲ行ヒ以テ之カ進運ノ利導ニ勉メタリト雖宇内ニ於ケル蠶業進歩ノ大勢ハ屢々トシテ止マズ斯業ニ關スル試驗及傳習事業擴進ノ必要ハ朝野人士ノ認識スル所トナリ遂ニ明治二十年三月十八日蠶業講習所官制ノ發布ヲ見ルニ至レリ茲ニ於テ前ノ蠶業試驗場ヲ改メテ蠶業講習所トナシ大ニ其規模ヲ擴張シ設備ヲ整ヒ且更ニ巡回講話、蠶種配付、質問應答等ノ業務ヲ新設シ以テ直接當業者ヲ指導裨益スルノ方法ヲ講シ又傳習ハ其程度ヲ高メ本科別科ノ二トシ且卒業生ニシテ進ンデ深遠ノ學術ヲ修メントスル者ノ爲メ別ニ研究科ヲ設クル等各種ノ事業益々廣汎深遠ヲ加フルニ至レリ然レトモ本邦蠶絲業進歩ノ趨勢ハ尙之ヲ以テ足レリトセス三十二年四月京都府下ニ同程度ノ蠶業講習所設置ナレ本校ハ同年六月ヨリ東京蠶業講習所ト改稱シ東西相應シテ斯業ノ擴進改善ニ勉ムルコト、ナレリ

斯ノ如ク本校ハ時勢ノ變遷ニ從ヒ其組織並ニ設備ノ改善ニ怠ラサリシト雖モ本邦蠶絲ノ需要國タル歐米諸國ノ機業外ハ其進歩著シク益々精良ナル原料ヲ要望スルコト急ナルニ鑑ミ本邦製絲改善ノ緊要ナルヲ認メ明治三十五年ニ至リ更ニ其規模ヲ擴張シ製絲業ニ關スル種々ノ試驗研究ニ從事スルト共ニ斯業指導誘掖或ハ經營ノ任ニ當ル者ヲ養成スルノ目的ヲ以テ講習規程ヲ改正シ特ニ製絲ノ講習科ヲ設ケ男生ノ外女生ヲモ募集シ以テ直接工女指導ノ任ニ當ル者ヲ養成スル等本校ノ業務ハ益々擴張整理ノ緒ニ就キタリ又三十八年五月ニ至リ斯業進歩ノ狀勢ニ鑑ミ養蠶部別科ヲ廢シ本科男生ノ講習程度ヲ高メ其學年ヲ三ヶ年ニ延長セリ

輓近夏秋蠶業ノ發達ハ愈急ニシテ其發展上試驗研究ヲ要スル事項頗ル多キヲ加ヘシヲ以テ規模ヲ擴張シテ四十二年三月本校ニ夏秋蠶部ノ一部ヲ新設シ之レヲ長野縣松本市ニ置キ專ラ夏秋蠶ニ關スル試驗研究ニ從事スルコト、ナレリ然ルニ時勢ノ進運ハ更ニ本校ノ組織ヲ改ムルノ必要ヲ生シ四十三年四月從來ノ養蠶部、製絲部、夏秋蠶部報告課及庶務課ヲ改メテ講習部、試驗部、夏秋蠶部及庶務課ト爲スニ至レリ爾後農商務省ハ原蠶種製造所ヲ設立シ原蠶種ノ製造及蠶絲業ニ關スル試驗及調査ヲ行フコトトナリ隨テ夏秋蠶部並ニ試驗部ノ事業ハ原蠶種製造所ヘ移屬シ本校ハ專ラ生徒教養ノ任ニ當リ兼テ斯業ニ關スル研究ヲ行フコトトナリタルヲ以テ四十五年四月本校ハ更ニ其組織ヲ變更シ從來ノ分課規程ヲ廢スルト同時ニ講習ニ關スル諸規程ニ大改革ヲ加ヘ學科目ノ改廢並ニ學年學期等ノ變更ヲ行フニ至

レリ次デ大正二年六月文部省所管トナリ本年四月一日ヲ以テ東京高等蠶絲學校ト改稱スルニ至レリ
 是ヨリ先キ本邦ノ蠶業特ニ夏秋蠶業ノ進歩發達極メテ急速ナルニ從ヒ蠶病蔓延ノ弊漸ク多ク消毒法普
 及ノ必要甚タ切ナルヲ認メ此等指導獎勵ノ任ニ當ルヘキ者ヲ養成スル目的ヲ以テ三十四年ヨリ三ヶ年
 間毎年一回各府縣ヨリ講習生五十名宛ヲ募集シ蠶病消毒講習ヲ開キ同法ニ關スル學理、實施ノ講習ヲ
 ナセリ而シテ蠶病消毒ノ普及ハ「フオルマリン」ノ需用ヲ大ニ増加セルモ之カ良否ノ識別困難ニシテ往
 々不良品ノ爲メ消毒効果ヲ完クスルコト能ハサルモノアルヲ認メ三十九年及四十年ノ二回短期講習ヲ
 開始シ「フオルマリン」檢定法ノ講習ヲ行ヒテ技術者ヲ養成シ又地方製絲場ニ於ケル監督指導者ニ對シ
 學理ノ一般ヲ諒得セシムルハ斯業ノ改良ヲ圖ル上ニ甚タ緊要ナルヲ認メ四十年ヨリ本年マテ毎年一回
 短期講習ヲ開設シテ製絲法其他必要ナル學科目ニ付キ教授ヲナセリ

學年曆

四月一日 學年始
 四月一日 第一學期始
 四月三日 休業(神武天皇祭)
 七月二十一日 夏期休業始(第一學年、製糸科第二學年、
教養養成科)

八月十五日 夏期休業始(第三學年、
養蠶科第一學年、)
 八月三十一日 夏期休業終(第一學年、製糸科第二學年、
教養養成科)
 八月三十一日 第一學期終
 九月一日 第二學期始
 九月十日 夏期休業終(第三學年、
養蠶科第二學年、)
 秋分日 休業(秋季皇靈祭)
 十月十七日 休業(神嘗祭)
 十月二十四日 休業(本校紀念日)
 十月三十一日 休業(天長節祝日)
 十一月二十三日 休業(新嘗祭)
 十二月二十五日 冬期休業始
 十二月三十一日 第二學期終
 一月一日 第三學期始
 一月七日 冬期休業終
 二月十一日 休業(紀元節)

學年曆

春分日 休業(春季皇靈祭)
 三月二十五日 春期休業始
 三月三十一日 春期休業終
 三月三十一日 第三學期終
 三月三十一日 學年終

法令

專門學校令(抄) 明治三十六年三月二十七日 勅令第六十一號

- 第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス
- 專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ
- 第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校(中略)又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ(下略)
- 第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス
- 第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科、及別科ヲ置クコトヲ得
- 第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目、及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ終業年限、學科、學科目及其程度並豫科、研究科、及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

實業學校令(抄) 明治三十二年二月六日 勅令第二十九號

- 第一條 實業學校ハ工業、農業、商業等ノ實業ニ從事スル者ニ須要ナル教育ヲ爲スヲ以テ目的トス
- 第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、及實業補習學校トス
- 蠶業學校、山林學校、獸醫學校、及水産學校等ハ農業學校ト看做ス
- 第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
- 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル
- 第八條 實業學校ノ修業年限、學科、學科目、及其程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第十四條 實業學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得
- 第十五條 本令施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

文部省直轄諸學校官制中改正(抄) 大正三年三月三十一日 勅令第四十四號

第一條中上田蠶絲專門學校ノ次ニ「東京高等蠶絲學校」及「京都高等蠶業學校」ヲ加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
蠶業講習所官制ハ之ヲ廢止ス

文部省直轄諸學校專任職員定員令(抄)

明治三十五年
勅令第九十九號

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

東京高等蠶絲學校	一	校長	九	教授	十	助教授	四	書記	八
----------	---	----	---	----	---	-----	---	----	---

(大正三年三月三十一日勅令第四十五號ヲ以テ改正)

文部省直轄學校外國人特別入學規程

明治三十四年十一月十一日
文部省令第十五號

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ 但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此限りニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科終了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料、及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタル者ト看做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

臺灣人及朝鮮人特別入學ニ關スル規程

明治四十四年四月四日
文部省令第十六號

本校規則

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若クハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス 但シ其ノ入學ニ關シテ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

本校規則

第一章 總則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ蠶絲業ニ從事スヘキ者ニ必要ナル高等ノ教育ヲ施ス所トス

第二條 本校本科ノ學科ヲ分チテ養蠶科、製絲科トス

第三條 各學科ノ修業年限ハ三箇年トス

第四條 本校ニ製絲教婦養成科ヲ置ク其ノ規程ハ別ニ之ヲ定ム

第五條 本校ニ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ

研究生及選科生ニ關シテハ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外本科ニ關スル規程ヲ準用ス

第六條 本校ハ必要ニ應ジ養蠶、製絲ニ關スル短期ノ講習ヲ爲スコトアルヘシ

短期講習ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 學科目及其程度並卒業論文

第七條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ 但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ行ヒ又ハ實習實驗ヲ課スルコトアルヘシ

一 養蠶科

講義ノ部 (每週授業時數)

學科	學年	第一學年			第二學年			第三學年		
		第一期	第二期	第三期	第一期	第二期	第三期	第一期	第二期	第三期
修身	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
國文	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
英語	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
英語	第二學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
英語	第三學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
獨逸	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
動物	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
植物	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
物理	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化學	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
測量	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
氣象	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—

本校規則

規則

養計	燃絲蠶	色染及紡績法	製野蠶製	野蠶製	屑繭整理論	工塲生理論	工塲管生理論	製絲用水論	製絲貿易論	生絲貯繭論	殺繭貯繭論	織維繭業	蠶業	商事	簿記	法規
二四	二		三						四	四						
二六	二								二	二		二	二			
二六	二		四						二	二						
二六				四	四				三	四						
二三					二	二			二	二		二	二			
二三					二	二		三						三		
一八	二	二					四	二								
一六	二	二						二	二						三	
一五		二	四													四

一五

經濟學	機械學	物理學	佛學	英語	數學	國語	修身	學科	學年
				三	三	一	一	學期一	第一學年
	四	四		三	三	一	一	學期二	第一學年
	四	四		三	三	一	一	學期三	第一學年
	四			三	二	一	一	學期一	第二學年
二	三			三	二	一	一	學期二	第二學年
二	三			三	二	一	一	學期三	第二學年
				二	二		一	學期一	第三學年
				二	二		一	學期二	第三學年
				二	二		一	學期三	第三學年

備考 括弧内ノ數字ハ授業週數ヲ示ス
二製絲科
講義ノ部 (每週授業時數)

屑繭整理	製絲	殺繭、乾繭	規則
		不定時	一四
	(10)	一	

實習實驗ノ部 (每週授業回数)

學科 目	第一學年			第二學年			第三學年		
	學期一	學期二	學期三	學期一	學期二	學期三	學期一	學期二	學期三
製圖		二		一		一	一		一
化學									
購置									
殺菌	不定時			不定時			不定時		
汽機									
工場									
機械									
足踏及座繰製絲	二	一	二				二	二	二
野蠶繭製絲									
繭審査	一	一	一						
生絲審査				二	二				
生絲整理					一	二			
屑繭整理	二	一	一	不定時			不定時		
養蠶				不定時			不定時		

各學科目ノ每週授業時數ハ修身ヲ除クノ外時宜ニ依リ之ヲ増減スルコトアルヘシ

第八條 學生ハ其ノ履修シタル事項ニツキ三學年ノ終ニ於テ卒業論文ヲ提出スヘシ

第三章 學年學期及休業日

第九條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十條 學年ヲ分テ左ノ三學期トス

第一學期ハ四月一日ニ始マリ八月三十一日ニ終ル

第二學期ハ九月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三學期ハ一月一日ニ始マリ三月三十一日ニ終ル

第十一條 休業日ハ左ノ如シ

- 一日 曜日
- 一 本校紀念日
- 一 大祭日、祝日
- 一 春季休業 自三月二十五日 至三月三十一日
- 一 夏季休業 自七月三十一日 至八月十五日 (第三學年及養蠶科第二學年ニ限リ八月十五日ヨリ九月十日マデ)
- 一 冬季休業 自十二月二十五日 至一月七日

第四章 入學、在學、退學及懲戒

第十二條 學生ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始メ一箇月以内トス

第十三條 各學科第一學年ニ入學ヲ許スヘキ者ハ品行方正志望鞏固年齡滿十七年以上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定ニ合格シタルモノタルヘシ

- 一 中學校ヲ卒業シタル者
- 二 專門學校入學者檢定規程ニ據ル試驗檢定ニ合格シタル者
- 三 專門學校入學者檢定規程ニ據リ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者
- 四 甲種程度ノ實業學校ヲ卒業シタル者、但シ志望學科ト同種類石ハ類似ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル

第十四條 前條第一號第三號又ハ第四號ニ該當スル學校在學者ニシテ當該學校長ヨリ該學年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタル者ハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得前項入學志願者ハ其ノ學校ヲ卒業シタル時直チニ卒業證明書ヲ提出スヘシ

第十五條 入學檢定ハ學力檢定及身體檢査ニ依リ之ヲ行フモノトス

第十六條 學力檢定ヲ分チテ無試驗檢定及試驗檢定トス

第十七條 左記ノ各號ノ一ニ該當スル入學志願者ハ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一 中學校卒業者ニシテ第四學年及第五學年學業成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ其ノ學級ノ及第者全數ノ十分ノ一以内ニ在リテ卒業後二箇年以上ヲ經過セサル者
- 二 中學校在學者ニシテ第四學年ノ學業成績ノ席次並ニ第五學年第一學期及第二學期ノ學業成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ其ノ學級生徒全數ノ十分ノ一以内ノ者

第十八條 無試驗檢定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各科募集人員ノ三分ノ一以内トス

無試驗檢定志願者ノ身體檢査ハ身體檢査證ニヨリ之ヲ行ヒ入學前更ニ本校ニ於テ檢査ヲ行フモノトス

第十九條 試驗檢定ノ學科目ハ國語、漢文、英語、數學、物理、化學、動物及植物トシ中學校卒業ノ程度ニヨリ之ヲ行フ

第二十條 第十七條ノ入學志願者ニシテ入學ヲ許可セラレザリシ者ハ第十九條ノ試驗檢定ニ應スルコトヲ得、但シ此場合ニハ入學檢定手数料ノ納付ヲ要セス

第二十一條 入學ヲ出願スル者ハ第二條ニ掲ケタル學科中ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學檢定手数料及寫眞(出願前六箇月以内ニ撮影シタル脱帽半身手札形)ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

一 入學願書(第一號書式)

二 履歷書(第二號書式)

三 戶籍謄本

四 第十三條第一號、第三號又ハ第四號ニ該當スル學校長ノ卒業證明書(第四號書式)若ハ第二號ノ合格證明書(第三號書式)

五 無試験檢定ヲ受クル者ニ在リテハ中學校第四學年及第五學年ノ席次及成績表(第五號書式)及身體檢査證(第六號書式)

第二十二條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ノ日ヨリ二十日以内ニ誓書(第七號書式)ヲ差出スヘシ

第二十三條 保證人ハ二人トス内一人ハ東京府内在住ノ公民タルヲ要ス

第二十四條 保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ學校ニ於テ不適當ナリト認メタルトキハ

更ニ保證人ヲ定メ直チニ誓書ヲ本校ニ差出スヘシ

第二十五條 保證人改姓改名轉籍轉居若ハ改印等ヲ爲シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第二十六條 本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限り詮議ノ上試験ヲ行ヒ

原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試験ヲ省略ス試験ノ全部ヲ省略シタルトキ

ハ入學檢定手数料ヲ徴收セス

第二十七條 學生ハ本校所定ノ制服、制帽ヲ着用スヘシ但シ新入學生ハ其ノ入學ノ日ヨリ一箇月以内

ハ此限リニアラス

第二十八條 學生疾病其ノ他己ムヲ得サル事由ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ當日中ニ届出ツ

ヘシ但シ疾病ノ爲メ缺席七日以上ニ亘ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十九條 學生疾病ニ依リ引續キ三箇月以上修業シ能ハスト思料スルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ保

證人連署ヲ以テ願書ヲ差出シ許可ヲ得テ其ノ學年間休學スルコトヲ得但シ其ノ事由消滅シタルトキ

ハ許可ヲ得テ休學ヲ取消スコトヲ得

第三十條 學生在學中兵役ニ服スル者ハ其ノ間休學スルモノトス

前項ニヨリ休學シタル者服役ヲ終リタルトキハ直チニ原級ニ復歸スヘシ

第三十一條 學生改姓改名轉籍轉居若クハ改印ヲ爲シタルトキハ其ノ旨直チニ届出ツヘシ但シ改姓改

名轉籍ニハ戶籍謄本ヲ添フルヲ要ス

第三十二條 學生ハ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入り又ハ他ノ學校若クハ官署ニ於ケル各種

ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ノ上願出ツヘシ

第三十三條 學生疾病其ノ他己ムヲ得サル事由ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連

署ノ上願出ツヘシ但シ疾病ニ因リ退學セントスル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要

ス

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學業劣等若ハ身體弱ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 正當ノ事由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者
- 四 正當ノ事由ナクシテ出席常ナラサル者
- 五 授業料滞納二週日以上ニ亘ル者

第三十五條 學生ニシテ校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失ヘリト認ムヘキ行爲アル者ハ之ヲ懲戒ス懲戒ハ分テ譴責、停學、放校トス

第五章 修業及卒業

第三十六條 各學年ノ課程修了ハ該學年間ニ於ケル平素ノ勤惰及學業ノ成績等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第三十七條 前條ノ考查ニ合格セサル者ニハ次學年ノ始メヨリ原級ノ課程ヲ再修セシムルモノトス

第三十八條 已ムヲ得サル事由ニ依リ試験ニ缺席シタル者追試験ヲ出願シタルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ次學期始業後二週日以内ニ之ヲ行フ

第三十九條 第三學年ノ課程ヲ修了シ卒業論文ノ考查ニ合格シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第四十條 第三學年ノ成績考查ニ合格セサル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第四十一條 成績考查ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六章 特待生

第四十二條 學生品行方正ニシテ學業ニ精勵シ一學年中ノ學業成績優等ナル者ハ次學年間特待生ト爲スコトアルヘシ

第四十三條 特待生ヨリハ授業料ヲ徴收セス

第四十四條 特待生ニシテ品行若クハ勤惰ノ點ニ於テ其ノ資格ヲ失ヒタル者ハ直チニ特待生タルコトヲ罷ム

第七章 入學檢定手数料、授業料及實習實驗費

第四十五條 入學檢定手数料ハ金參圓トス

第四十六條 授業料ハ一學年、本科及研究生ハ金貳拾五圓選科生ハ金拾五圓トス

外國人ニシテ特別入學ヲ許可セラレタル者ノ授業料ハ一學年本科及研究生ハ金五拾圓選科生ハ金參拾圓トス

第四十七條 授業料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始メ指定ノ期間内ニ於テ之ヲ徴收ス

第一期	自八月至四月	本科及研究生	選科生	外國人本科及研究生	同	選科生
第二期	自九月至十二月	金拾圓	金五圓	金貳拾圓	金拾貳圓	金拾圓
第三期	自一月至三月	金八圓	金五圓	金拾五圓	金拾圓	金七圓
第四十八條	授業料納付期間以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ヨリハ入學許可ノ日ヨリ五日以内ニ授業料ヲ徴收ス					

第四十九條 實業學校教員養成規程ニ依ル學資補給希望者ニ對シテハ其ノ補給決定ニ至ル迄授業料徴收ヲ猶豫シ補給生トナリタルトキハ之ヲ徴收セス

本科學生中卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニシテ學校長ノ選定ヲ得タル者ヨリハ授業料ヲ徴收セス

前項ノ選定ヲ得タル者ハ卒業ノ日ヨリ二箇年間實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第五十條 停學ヲ命セラレ又ハ休學シタルニ因リ期間ノ一部ニ涉リ缺席シタル者ヨリハ其ノ期ノ授業料ヲ徴收セス

料ヲ徴收セス

第五十一條 授業料納付期以前ニ停學ヲ命セラレ又ハ休學シタル者ヨリハ其ノ月ノ授業料トシテ金貳圓五拾錢(本科及研究生)金壹圓五拾錢(選科生)金五圓(外國人本科及研究生)金參圓(外國人選科生)ヲ指定ノ日ニ徴收ス

第五十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリハ其事由ノ生シタル月ヨリ一箇月金貳圓五拾錢(本科及研究生)金壹圓五拾錢(選科生)金五圓(外國人本科及研究生)金參圓(外國人選科生)ノ割ヲ以テ次ノ授業料納付期ノ前月マテノ授業料ヲ指定ノ日ニ徴收ス但シ第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニシテ其ノ期ノ授業料納付済ノ者ニ對シテハ此ノ限リニアラス

- 一 特待生ノ資格消滅シタル者
- 二 停學ヲ解除セラレ就學シタル者
- 三 休學ノ事故止ミ就學シタル者
- 四 學期ノ半途ニ於テ入學ヲ許可セラレタル者

第五十三條 研究生若ハ選科生ヨリハ實習實驗ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徴收スルコトアルヘシ

第五十四條 入學檢定手数料、授業料及實習實驗費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖モ之ヲ返付

第八章 研究生

第五十五條 本校卒業者ニシテ既修ノ學科目ニ就キ更ニ研究セント欲スル者アルトキハ詮議ノ上研究生トシテ二箇年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十六條 研究生タラント欲スル者ハ其ノ研究セント欲スル事項及在學ノ期間ヲ具シタル願書ニ履歷書ヲ添付シ學校長ニ差出スヘシ

第五十七條 研究生ハ指導教官指導ノ下ニ本校内ニ於テ研究ニ従事スルモノトス但シ必要ノ場合ニ限リ許可ヲ受ケ本校外ニ於テ研究スルコトヲ得

第五十八條 研究生其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報告書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第九章 選科生

第六十條 本校所定ノ各學科目ノ中ニ就キ專修センコトヲ願出ツル者アルトキハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第六十一條 選科生トシテ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ニ該當シ且本校ニ於テ適當ト認ムル者ニ限

一 品行方正身體強健ナル者

二 年齢十七年以上ノ者

三 三箇年以上引續キ志望學科目ニ關スル業務ニ従事シタル者又ハ中學校若ハ之ト同程度以上ノ學校卒業者

第六十二條 選科生ノ入學時期ハ每學年ノ始メ一箇月以内トス但シ特別ノ場合ニハ學年ノ半途ニ於テ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第六十三條 選科生ノ在學期間ハ三箇年以内トス

第六十四條 選科生ニシテ在學中成績優良ナル者ニハ修業證書ヲ授與ス

第十章 寄宿舎

第六十五條 寄宿舎ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

第六十六條 本則施行ノ際現ニ在學セル學生ノ學科目及其程度ハ仍從前ノ例ニ依リ本則ヲ斟酌シテ之ヲ授ケ其ノ學年及學期ハ仍從前ノ例ニ依ル

第六十七條 前條ノ學生ヨリハ授業料及實習實驗費ヲ徴收セス
第一號書式(用紙美濃)

入學願書

志望學科 第一志望何學科

第二志望何學科(第二志望ナキ者ハ其ノ旨明記スヘシ)

受験希望ノ場所 何 地(試験檢定出願者ニ限ル但シ學校ニテ試

験場ヲニケ所以上トシ廣告シタル時)

私儀貴校へ入學志願候ニ付御許可相成度別紙履歷書卒業證明書(若ハ專門學校入學者試験檢定合格證明書)席次及成績表(無試験檢定出願者ニ限ル)戶籍謄本入學檢定手数料並ニ寫真相添へ此段相願候也

現住所

本籍地

族稱 戶主(若ハ戶主トノ續柄)

入學志願者 何 某印

年月日生

年月日 東京高等蠶絲學校長何某殿

(備考) 本人氏名ニハ片假名ヲ附スヘシ

第二號書式(用紙美濃)

履歷書

現住所

本籍地

族稱 戶主(若ハ戶主トノ續柄)

何 某

年月日生

一學業

何年何月ヨリ何年何月迄何地官公私立何學校ニ於テ若ハ何某ニ就キ何學修業

何年何月何地官公私立何學校ニ於テ何々修業證書若ハ卒業證書又ハ品行證明書(別紙寫ノ通)ヲ受

ク

其ノ他重要ノ事項

一職業

何年何月何官職拜命若ハ何業ニ從事ス

規則

規則

何年何月退官廢業若ハ現今何官職何業ニ從事等

一賞 罰

何年何月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等

一家 業

何業

右ノ通相違無之候也

年 月 日

第三號書式 (用紙美濃)

證明書

族 籍

何 某

年 月 日 生

日本校ニ於テ施行シタル試験檢定ニ

合格シタル者ナルコトヲ證明ス

年 月 日

何地官公私立何學校長 何

某 印

三〇

第四號書式 (用紙美濃)

卒業證明書

族 籍

何 某

年 月 日 生

右ハ年月日本校何學年ニ入學年月日全科ヲ卒業シタル者(若ハ卒業スヘキ見込ノ者)ナルコトヲ證

明ス

年 月 日

何地官公私立何學校長 何

某 印

第五號書式 (用紙美濃)

(其一、卒業者ノ分)

席次及成績表

氏 名

年 月 日 生

學年別	學科目	何々	計	成績	席	次
-----	-----	----	---	----	---	---

規則

三一

本校規則

- 一 神經系
- 一 血行器
- 一 皮膚
- 一 言語

既往及現在ノ疾病又ハ略形

右検査候處和違無之候也

検査年月日

現住所

何學校學校醫

學位(若ハ資格)

何

某印

第七號書式 (用紙美濃)

參 錢
收入印紙

誓 書

私儀今般貴校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ專心學業ヲ勉勵可致候

仍テ誓書如此候也

現住所

本籍地

族稱 戶主(若ハ戶主トノ續柄)

何

某印

年月日生

右何某在學中御規則等堅ク相守ラセ候事ハ勿論退學後タリトモ同人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ拙者ニ於テ引受可申候此段保證仕候也

現住所

本籍地

族稱 職業

保證人

何

某印

年月日生

東京高等蠶絲學校長何某殿

本校規則

製絲教養養成科規程

第一章 總則

第一條 製絲教養養成科ハ製絲ノ教婦タルヘキ者ニ必要ナル教育ヲ施スヲ以テ目的トス
 第二條 修業年限ハ二箇年トス

第二章 學科目及其ノ程度

第三條 學科目及其程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ行ヒ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

講義ノ部 (毎週授業時數)

學科目	第一學年			第二學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
算國修	二	二	二			
術語身	一	一	一	一	一	一

學科目	第一學年			第二學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
理簿記						
殺蛹貯繭	二	二	二	二	二	二
製絲法	三	二	二	二	二	二
製絲機械						
工場管理法及衛生						
屑繭整理法及野蠶繭製絲法						
養蠶計	九	九	九	九	九	九
實習ノ部 (每週授業回數)						
殺蛹貯繭	不定時	不定時	不定時	不定時	不定時	不定時
工場管製理	四	四	四	四	四	四
機械製絲	一	一	一	一	一	一
足踏及座繰製絲	一	一	一	一	一	一
繭審査						

製絲教養養成科規程

生 絲 審 査	生 絲 整 理	生 絲 整 理 及 野 蠶 繭 製 絲					
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

各學科目ノ每週授業時數ハ修身ヲ除クノ外時宜ニヨリ之ヲ増減スルコトアルヘシ

第三章 入學及在學

第四條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始メ一箇月以內トス

第五條 入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正志望鞏固年齡滿十八年以上ノ女子ニシテ左ノ各號ニ該當シ且入學檢定ニ合格シタルモノタルヘシ

- 一 二箇年以上製絲ニ從事シタル者
- 一 高等小學校卒業者若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

第六條 身體檢査ハ身體檢査證ニヨリ之ヲ行ヒ入學前更ニ本校ニ於テ之ヲ行フモノトス

第七條 學力檢定ノ學科目ハ國語、算術、理科及製絲法トス

前項ノ學科目中製絲法ヲ除クノ外ハ高等小學校卒業ノ程度ニヨリ之ヲ行フ

第八條 前條ノ學力檢定ハ本校ニ於テ之ヲ行フ但シ入學者ノ志願ニ依リ地方廳ニ於テ之ヲ行フコト

アルヘシ

第九條 入學ヲ出願スル者ハ左ノ書類ニ入學檢定手數料ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

- 一 入學願書 (第一號書式)
- 二 履歷書 (第二號書式)
- 三 戶籍謄本

第十條 生徒ハ本校所定ノ制服ヲ着用スヘシ但シ新入學生ハ其ノ入學ノ日ヨリ一箇月以內ハ此限リニアラス

第四章 入學檢定手數料及授業料

第十一條 入學檢定手數料ハ金壹圓トス

第十二條 授業料ハ一學年金拾五圓トス

外國人ニシテ特別入學ヲ許可セラレタル者ノ授業料ハ一學年金參拾圓トス

第十三條 授業料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始メ指定ノ期間内ニ於テ之ヲ徴收ス

第一期 自四月至八月 金 七 圓 外國人 金拾貳圓五拾錢

製絲教養養成科規程

三九

第二期 自九月至十二月 金 四 圓
 第三期 自一月至三月 金 四 圓
 金 七 圓 五 拾 錢

第十四條 授業料納付期以前ニ停學ヲ命セラレ又ハ休學シタル者ヨリハ其ノ月ノ授業料トシテ金壹圓五拾錢(本邦人)ヲ指定ノ日ニ徵收ス

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリハ其ノ事由ノ生シタル月ヨリ一箇月金壹圓五拾錢(本邦人)金參圓(外國人)ノ割合ヲ以テ次ノ授業料納付期ノ前月マテノ授業料ヲ指定ノ日ニ徵收ス但シ第一號又ハ第二號ニ該當スル者ニシテ其ノ期ノ授業料納付濟ノ者ニ對シテハ此限リニアラス

- 一 停學ヲ解除セラレ就學シタル者
- 二 休學ノ事故止ミ就學シタル者
- 三 學期ノ半途ニ於テ入學ヲ許可セラレタル者

附 則

第十六條 本規程ニ特別ノ定メナキモノハ總テ東京高等蠶絲學校規則ヲ準用ス但シ特待生、研究生及選科生ニ關スル事項ヲ除ク

第十七條 元東京蠶業講習所女生本科生ハ本規程ニヨル製絲教婦養成科生トス

第一號書式 (用紙美濃)

入 學 願 書

私儀貴校製絲教婦養成科へ入學志願ニ付貴校(又ハ何々府縣廳)ニ於テ試驗檢定ノ上御許可相成度別紙履歷書及戶籍謄本並ニ入學檢定手數料相添へ此段相願候也

現 住 所

本 籍 地

族 稱 戶 主 (若ハ戶主トノ續柄)

入 學 志 願 者 何 某 印

年 月 日 生

年 月 日

東京高等蠶絲學校長何某殿

第二號書式 (用紙美濃)

履 歷 書

現 住 所

本 籍 地

族 稱 戶 主 (若ハ戶主トノ續柄)

何 某

年 月 日 生

一 學 業

何年何月ヨリ何年何月迄何學校ニ於テ若ハ何某ニ就キ何學修業

何年何月何學校ニ於テ何々修業證書若ハ卒業證書又ハ品行證明書(別紙寫ノ通)ヲ受ク

其他重要事項

一 職 業

何年何月ヨリ何年何月迄何處ニ於テ製絲業ニ従事ス

一 賞 罰

何年何月何處ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク

一 家 業

何々

右之通相違無之候也

年 月 日

何 某 印

諸 規 程

本 校 處 務 規 程

第 一 章 校 務 分 掌

第一條 本校ノ事務ヲ處理スル爲メ左ノ課ヲ置キ各課ニ課長ヲ置ク

庶 務 課

會 計 課

教 務 課

學 生 課

圖 書 標 本 課

第二條 庶務課長及會計課長ハ書記中ヨリ教務課長及圖書標本課長ハ教授若クハ助教中ヨリ學生

課長ハ生徒監中ヨリ學校長之レヲ命ス

第三條 本校ノ業務ヲ處理スル爲メ左ノ科ヲ置キ各科ニ主任ヲ置ク

養 蠶 科

製 絲 科

第四條 養蠶科及製絲科ニ左ノ掛ヲ置ク

諸 規 程

養蠶科

桑園掛

蠶室掛

蠶種掛

化學實驗室掛

病理實驗室掛

解剖實驗室掛

製絲科

乾繭及繭室掛

工場掛

汽罐室掛

製絲實驗室掛

- 第五條 各科ノ主任ハ教授中ヨリ各掛ハ教官中ヨリ學校長之レヲ命ス
- 第六條 課長及科主任ハ學校長ノ命ヲ承ケ分掌事務又ハ業務整理ノ責ニ任スルモノトス
- 第七條 各掛ハ當該科主任ノ命ヲ受ケ主掌事項ニ關スル一切ノ業務ヲ掌理スルモノトス
- 第八條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス

- 一 御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
- 一 學校及印學校長ノ印保管ニ關スル事項
- 一 職員ノ進退身分及服務ニ關スル事項
- 一 職員ノ叙位叙勳ニ關スル事項
- 一 職員ノ願伺届ニ關スル事項

- 一 外國留學生ニ關スル事項
- 一 公文書處理ニ關スル事項
- 一 法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
- 一 規則及諸規程ノ制定變更ニ關スル事項
- 一 學校長ノ命令傳達ニ關スル事項
- 一 記錄統計、一覽、報告及日誌ニ關スル事項
- 一 儀式ニ關スル事項
- 一 名簿、履歷書、出勤簿ニ關スル事項
- 一 宿直ニ關スル事項
- 一 校舎、校地ノ警備取締ニ關スル事項
- 一 校內衛生ニ關スル事項
- 一 備人ニ關スル事項
- 一 本課ニ屬スル物品ノ管理ニ關スル事項
- 一 本課ニ屬スル文書ノ起草、編纂、保管ニ關スル事項
- 一 門衛ニ關スル事項

職員ノ出張ニ關スル事項

來觀人ニ關スル事項

非常事變ニ關スル事項

他ノ課科ニ屬セサル一切ノ事項

第九條

會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス

一 歳入、歳出豫算決算ニ關スル事項

一 金錢ノ收支保管ニ關スル事項

一 物品ノ出納、保管及證明ニ關スル事項

一 生産品ノ出納及保管ニ關スル事項

一 寄贈物品ノ受入及保管ニ關スル事項

一 官有財産及資金ニ關スル事項

一 不用物品ノ處分ニ關スル事項

一 本課ニ屬スル文書ノ起案、編纂保管ニ關スル事項

一 其他會計ニ關スル一切ノ事項

第十條

教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス

講堂、教室設備及教具ニ關スル事項

授業時間割ニ關スル事項

授業及休業ニ關スル事項

教科書及參考書ニ關スル事項

學生生徒ノ募集、入學檢定ニ關スル事項

研究生及選科生ニ關スル事項

學籍ニ關スル事項

退學及休學ニ關スル事項

試驗成績調、進級、卒業及修業ニ關スル事項

教官ノ報告ニ關スル事項

教授會ニ關スル事項

修學旅行及校外實習ニ關スル事項

教官ノ出缺勤ニ關スル事項

教務ニ關スル命令傳達并ニ通知ニ關スル事項

本課ニ屬スル文書起案、編纂及保管ニ關スル事項

- 一 本課ニ屬スル屬スル物品ノ管理ニ關スル事項
- 一 教務ニ關スル諸規程ノ制定、變更ニ關スル事項
- 一 其他教務ニ關スル一切ノ事項

第十一條

- 一 學生課ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス
- 一 學生生徒ノ訓育ニ關スル事項
- 一 學生生徒ノ風紀及取締ニ關スル事項
- 一 學生生徒ノ服制ニ關スル事項
- 一 學生生徒ノ勤惰ニ關スル事項
- 一 特待生ニ關スル事項
- 一 學生生徒ノ出缺席調査ニ關スル事項
- 一 級長ニ關スル事項
- 一 在學證明ニ關スル事項
- 一 學生控室ニ關スル事項
- 一 寄宿舎ノ監督ニ關スル事項
- 一 寄宿舎賄所及出入商人ニ關スル事項

- 一 學生生徒ノ宿泊所及保證人ニ關スル事項
 - 一 學生生徒ノ願伺届ニ關スル事項
 - 一 學校衛生及身體検査ニ關スル事項
 - 一 體育及運動ニ關スル事項
 - 一 學生生徒ノ身上ニ關スル一切ノ事項
 - 一 本課ニ屬スル文書ノ起案、編纂及保管ニ關スル事項
 - 一 本課ニ屬スル物品ノ管理ニ關スル事項
 - 一 學生生徒ニ關スル諸規程ノ制定、變更ニ關スル事項
 - 一 學生生徒ノ賞罰ニ關スル事項
 - 一 學生ノ兵役ニ關スル事項
 - 一 學生生徒ノ入退舎及寄留ニ關スル事項
 - 一 其他學生生徒取締ニ關スル一切ノ事項
- 第十二條 圖書標本課ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス
- 一 圖書ノ出納整理保管ニ關スル事項
 - 一 圖書印章ノ監守ニ關スル事項

- 一 書庫及閱覽室ノ整理取締ニ關スル事項
- 一 圖書貸付ニ關スル事項
- 一 圖書目錄編纂ニ關スル事項
- 一 官報、新聞、雜誌、報告書類ノ整理及保存ニ關スル事項
- 一 圖書館ノ設備及管理ニ關スル事項
- 一 寄贈及委託圖書ニ關スル事項
- 一 本課ニ屬スル物品ノ管理ニ關スル事項
- 一 本課ニ屬スル文書ノ起案、編纂及保管ニ關スル事項
- 一 標本ノ出陳、貸與ニ關スル事項
- 一 標本ノ出納轉換ニ關スル事項
- 一 標本室ノ整理、保管ニ關スル事項
- 一 其他圖書標本ニ關スル一切ノ事項

第十三條 各課ノ事務ニシテ他課ニ關係アルモノハ當該課長ニ、業務ニ關係アルモノハ當該科主任ニ合議スヘシ

第二章 職員服務

- 第十四條 職員登校スルトキハ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ
- 第十五條 職員病氣其他ノ事故ニ依リ出勤スルトキハ其旨學校長ニ届出ヘシ
但シ病氣缺勤一週日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ爾後二週日毎ニ又同シ
- 第十六條 一般執務時間ノ外職員執務時間ノ増減ハ其都度學校長之レヲ定ム
- 第十七條 職員出張ヲ命セラレタルトキハ其出發及歸着ノ月日ヲ學校長ニ届出スヘシ
- 第十八條 職員研究調査ノ爲メ出張シタルトキハ歸着後七日以内ニ其事項ヲ學校長ニ復命スヘシ
特ニ大臣ヨリ命令書ノ交付アリタルトキハ學校長ヲ經テ大臣ニ復命スヘシ
- 第十九條 職員病氣又ハ事故ニ依リ遅刻シタルトキハ其旨所屬課長若クハ科主任ヘ届出又早退セントスルトキハ課長若クハ科主任ノ許可ヲ受クヘシ
- 第二十條 職員住所ヲ移轉シ或ハ姓名印章ヲ變更シタルトキハ其都度届出スヘシ
- 第二十一條 職員病氣其他ノ事故ニ依リ居住地ヲ離レントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ
賜暇中ノ旅行モ亦前項ニ同シ
- 第二十二條 職員官廳其他ヨリ本校ヲ經由セスシテ直ニ辭令ヲ受ケタルトキハ其事項ノ履歷上ニ關係

アルモノハ其都度届出スヘシ

第二十三條 宿直ハ判任官(助教授ヲ除ク)以下ノ職員ヲシテ輪番ニ之レヲ勤務セシム

第二十四條 宿直規程、校醫規程、備人規程及參觀人心得ハ學校長別ニ之レヲ定ム

第三章 會議

第二十五條 本校ニ教授會ヲ設ク

第二十六條 教授會ハ校務上重要ナル事項ニ關シ學校長ノ諮問ニ應シ之レヲ審議ス

第二十七條 教授會ハ教授ヲ以テ組織ス但シ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ他ノ職員ヲシテ參列セシムルコトアルヘシ

第二十八條 學校長ハ教授會ヲ召集シ其議長トナル但シ學校長事故アルトキハ上席教授之レニ代ル

第二十九條 教授會ノ記錄ハ教務課ニ於テ之レヲ擔當ス

第四章 文書ノ處理

第三十條 公文書ノ接受發送ハ庶務課ニ於テ之レヲ取扱フヘシ

第三十一條 庶務課長ニ於テ公文書ヲ接受シタルトキハ之レヲ開封(親展書ハ此限リニアラス)シ學校

長ノ捺印ヲ受ケ主務ノ課長若クハ科主任ニ配付スヘシ

第三十二條 課長若クハ科主任ニ於テ前條ノ公文書ヲ受ケタルトキハ擔任者ヲ定メ之レヲ交付シ其處

分案ノ回付ヲ受ケタルトキハ其重要ナルモノニ對シテハ直ニ關係者ニ合議ノ上之レヲ庶務課ニ送付スヘシ

第三十三條 前條ノ擔任者ハ接受シタル文書ノ處分案ヲ作り當該課長若クハ科主任ニ回付スヘシ

第三十四條 發議ヲ要スルトキハ案ヲ具シ所屬課長若クハ科主任ヲ經テ庶務課ニ送付スヘシ

第三十五條 庶務課ニ於テ第三十二條第三十四條ノ公文書ヲ受ケタルトキハ學校長ノ決裁ヲ受ケ其處理ヲ爲スヘシ

第三十六條 公文書及物品ノ接受發送ハ其年月日件等名必要ノ事項ヲ帳簿ニ記入シ其交付ノ場合ニ在リテハ受領者ノ認印ヲ徵スヘシ

第三十七條 職員名ヲ以テ發送スル公文書ニハ其封筒ニ官氏名ヲ記シ所屬課長若クハ科主任ノ檢印ヲ受ケ開封ノ儘庶務課ニ送付スヘシ

第三十八條 職員ノ進退、賞罰、學生生徒ノ賞罰及試験問題ハ機密事務トシテ之レヲ取扱フヘシ

第三十九條 公文書ハ完結ノ都度類別ニ依リ會計年度毎ニ之レヲ編綴シ其數回ノ往復ヲ重ネタルモノハ其顛末ヲ一括シテ編綴スヘシ但シ一事件ニシテ翌年度ニ連續スルモノハ完結ノ年ニ於テ編綴スヘシ

シ

第四十條 公文書ハ左ノ區別ニ依リ之レヲ保存スヘシ

- 一 永久保存 諸達其他ノ例規徵證ニ備ヘ可キモノ并ニ報告材料及調査參考ニ供スヘキモノ
- 二 七ケ年保存 例規ニ依リ處分シタルモノ及質問應答書類
- 三 一ケ年保存 一時限リ處辨ニ屬スルモノ

成績考查規程

第一條 學業ノ成績ハ學期成績、學年成績及卒業成績ニ分チ平素ノ成績及試験成績ニ依リ之ヲ考查ス

第二條 試験ヲ分チテ學期試験及學年試験トス但シ教官ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時試験ヲ行フコトアルヘシ

第三條 學期試験ハ第一第二ノ各學期末ニ於テ其學期間ニ履修シタル學科目ニ就キ之ヲ行フ但シ第一若クハ第二ノ學期ニ於テ修了シタル學科目ハ其ノ修了學期ノ學期試験ヲ行ハス

第四條 學年試験ハ各學年末ニ於テ其ノ學年間ニ履修シタル學科目ニ就キ之ヲ行フ但シ學年ノ中途ニ於テ修了シタル學科目ノ學年試験ハ其ノ修了シタルトキニ於テ之ヲ行フコトアルヘシ

第五條 學科目中修身及實習實驗ハ受持教官ノ見込ニ依リ其ノ一部又ハ全部ノ試験ヲ省略シ平素ノ學業ニ基キ其ノ成績ヲ考查スルコトアルヘシ

第六條 各學科目ノ平素ノ成績ハ平素ノ學業勤惰及臨時試験ノ成績ニ基キテ受持教官之ヲ定ム

第七條 各學科目ノ學期成績ハ學期試験成績及平素ノ成績ヲ參酌シテ受持教官之ヲ定ム

第八條 實習實驗ノ成績ハ養蠶科ニ在リテハ春蠶飼育、夏蠶飼育、秋蠶飼育、桑樹栽培ヲ二、製絲科ニ在リテハ器械製絲、殺蛹貯繭ヲ二ニ評價シ其ノ他ヲ一ニ評價シテ之ヲ定ム

第九條 學期成績ハ各學科目ノ學期成績ヲ平均シテ之ヲ定ム

第十條 各學科目ノ學年成績ハ學期成績ノ平均ヲ一ニ評價シ學年試験ノ成績ヲ二ニ評價シテ之ヲ定ム

第十一條 學年成績ハ各學科目ノ學年成績ヲ平均シテ之ヲ定ム

第十二條 卒業成績ハ各學年成績ノ和ニ卒業論文ノ成績ヲ加ヘ其ノ和ヲ四除シテ之ヲ定ム

第十三條 成績ハ點數ヲ以テ表示シ一百點ヲ以テ最高點トス

第十四條 點數ノ計算ハ小數一位ニ止メ小數二位ヲ四捨五入ス

第十五條 各學科目ノ成績六十點以上ヲ得タル者ハ該學年ノ課程ヲ修了シタルモノトス

第十六條 前條ニ合格セサルモ學年成績六十點以上ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教官會議ヲ經

テ其ノ學業成績ヲ審案シ特ニ該學年ノ課程ヲ修了シタルモノト認メ進級又ハ卒業セシムルコトアルヘシ

一 各學科目中學年成績五十點以上六十點未滿ノ學科目數總學科目ノ三分ノ一又ハ三分ノ一以內ノモノ

二 各學科目中學年成績四十點以上五十點未滿ノ學科目ハ一科目ニシテ且五十點以上六十點未滿ノ學科目二科目又ハ二科目以內ノモノ

第十七條 試験ニ缺席シタル學科目ノ成績ハ零點トス但シ豫メ許可ヲ受ケテ試験ニ缺席シ次學期若ハ次學年始業後三日以內ニ出願シタル者ニハ次學期若ハ次學年ノ始メ(始業後二週日以內)ニ於テ追試験ヲ行フコトアルヘシ此ノ場合ニ在リテハ其ノ追試験ノ成績ハ評點ノ十分ノ八トス

第十八條 已ムヲ得サル事由ニヨリ追試験ニ缺席シタル者ニ對スル處置ハ其ノ都度學校長之ヲ決ス

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學年試験ヲ受クルコトヲ得ス

一 第一若クハ第二學期試験ノ全部ヲ受ケサルモノ

但シ本校規則第二十六條及第三十條ノ場合ハ此ノ限ニアラス

二 一學期間五十日以上缺席シタルモノ

三 一學年間百日以上缺席シタルモノ

授業料及實習實驗費ニ關スル細則

第一條 授業料ハ左ノ期間内ニ本校會計課ニ納付スヘシ

第一期 自四月十六日 至同月二十日

第二期 自九月十一日 至同月十五日

第三期 自一月十六日 至同月二十日

第二條 本校規則第五十二條各號ノ一ニ該當スルモノハ事項發生ノ日ヨリ五日以內ニ該期ノ授業料ヲ納付スヘシ

第三條 退學又ハ放校ノ場合ニ於テ其ノ學期ノ授業料未納ナルトキハ即時之ヲ徴收ス

第四條 實習實驗費ヲ徴收スルトキハ特ニ其ノ金額及納付期日ヲ告示ス

選科生細則

第一條 選科生ノ特修スヘキ學科目左ノ如シ

養蠶科 選科

蠶業汎論、桑樹栽培論及實習、蠶種論及蠶種製造、養蠶論及蠶兒飼育、蠶體解剖及蠶體生理論並

諸規程

ニ實驗、蠶體病理論及實驗

製絲科選科

蠶業汎論、製絲經營論、工場管理論及實習、製絲論及實習、殺蛹貯繭論及實習、製絲用水論、機械學、屑繭整理論及實習

前項ノ學科目ハ學校長ノ許可ヲ得テ之ヲ省略シ又ハ他ノ學科目ヲ加ヘ特修スルコトヲ得

第一條 選科生ニハ本人ノ願ニ依リ特修セル前條第一項處定ノ學科目ノ全部又ハ一部ニツキ試驗ノ

上成績良好ナル者ニハ全部又ハ一部ノ學科目ニ對スル修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第二條 第二條ノ修業證書ヲ受ケ得サル學科目及第一條第二項ニ依リ聽講シタル學科目ニハ願ニ依

リ該學科目ニ對スル聽講證明書ヲ授與スルコトアルヘシ

外國人特別入學細則

第一條 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程ニ依リ外國人ニシテ本校ニ於テ教授ヲ受ケントスルモノアルトキハ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ノ志願者ハ本校規則第二十一條ニ定メタル入學願書履歷書ノ外修業學校長ノ證明書並

ニ外務省在外公館又ハ本邦處在ノ外國公館或ハ監督署ノ紹介書ヲ添ヘ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 志願者ノ學力ハ試驗ニ依リ之ヲ檢定ス

第四條 疾病其ノ他止ムヲ得サル事由ニ依リ休學又ハ退學セントスル者ハ入學出願ノ際紹介ヲ受ケタル官署ヲ經テ出願スヘシ

第五條 在學中成績良好ナル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六條 在學中品行方正成績優秀ニシテ本科卒業ト同等ノ學力アリト認ムル者ニハ詮議ノ上特ニ卒業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第七條 本細則ニ定メナキモノハ總テ本校規則ヲ準用ス

附 則

第八條 朝鮮人及臺灣人ニシテ特別入學ヲ願出ツル者アルトキハ當分ノ内本細則ニ依リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

學 生 心 得

第一條 本校學生ハ常ニ教育ニ關スル 勅語ノ御趣旨ヲ奉戴スヘシ

第二條 教官ノ指導ヲ遵守スヘキハ勿論各自ノ志操ヲ固クシ言行ヲ慎ミ校ノ内外ヲ問ハス苟モ本校

學生タルノ體面ヲ汚スカ如キ舉動アルヘカラス

第三條 校ノ内外ヲ問ハス學生ノ會合ヲナサントスル時ハ豫メ學生課ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第四條 始業時限ニハ遲滞ナク教場ニ入り授業終ル時ハ教官退出後靜ニ退場スヘシ

第五條 授業時間中ニ教室ニ出入セントスルトキハ受持教官ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 本校ノ揭示ハ揭示ノ當日ヨリ一般ニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ注意スヘシ

第七條 校舎内ニアリテハ高聲ニ誦讀談笑シ又ハ疾走スル等總テ喧噪ノ行爲アルヘカラス

第八條 校内ニアリテハ所定ノ場所以外ニ以外ニ於テ飲食喫煙スヘカラス

第九條 諸願届書ノ類ハ總テ學生課ヲ經テ學校長ニ差出スヘシ

第十條 登校中疾病又ハ事故ニ依リ缺席セントスルトキハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條 帽子、外套、傘及履物等ハ必ス所定ノ場所ニ整置スヘシ

第十二條 揭示ヲ爲サントスルトキハ豫メ學生課ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

第十三條 本校ノ物品ハ其取扱ヲ鄭重ニスヘシ若シ毀損又ハ紛失シタルトキハ直ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

學生、生徒服制

第一條 學生、生徒ノ服制左ノ如シ

學生

一 正 帽

地質 絨(黒)

帽章 金屬製、形狀圖ノ如シ(縦九分、横一寸二分、繭形及絲形ハ銀色其ノ他

ハ金色)

製式 圖ノ如シ

一 略 帽

地質 麥稈

帽章 正帽ノ帽章ニ同シ

鉢卷 黒無地

製式 圖ノ如シ

一 正 服

地質 絨(黒又ハ紺)

釦 金屬製金色、形狀圖ノ如シ

襟章 左襟ニ養蠶繭ハ、S製絲科ハF、ノ金字ヲ附ス
製式 圖ノ如シ

一靴 黒皮製

一實習服

甲

地質 小倉(茶褐)

製式 正服ニ同シ

乙

地質 カツラギ(白)

製式 圖ノ如シ

生徒

一正服

袴 毛襦子黒無地

製式 圖ノ如シ

徽章 金屬製、形狀圖ノ如シ(縦六分、横九分、繭形及絲形ハ銀色其ノ他ハ金色)

左胸ニ之ヲ附ス

一實習服

地質 キヤラコ(白)

製式 圖ノ如シ

第二條 學生生徒ノ服裝規程左ノ如シ

學生

一 本校ニ出入スルトキ、本校學生タルコトヲ表示スルトキ及特ニ本校ヨリ指定スルトキハ正帽正服ヲ着用スヘシ

但シ五月一日ヨリ九月三十日迄ハ特ニ指定シタル場合ノ外略帽ヲ着用スルコトヲ得

桑園、養蠶、蠶具製造及殺蛹貯繭ノ實習ニハ甲實習服ヲ其ノ他ノ實習ニハ乙實習服ヲ着用スヘシ但シ桑園實習ニ於テハ脚半及足袋ヲ着用スヘシ

一 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ制服ヲ着用シ難キトキハ豫メ許可ヲ受クヘシ

一 寄宿生ハ舍内ニ在リテハ和服ヲ着用スルコトヲ得

一 寄宿生、通學生ヲ間ハス外出ノ場合ニ於テハ制帽、正服又ハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

生徒

一 本校ニ出入スルトキ本校生徒タルコトヲ表示スルトキ及特ニ本校ヨリ指定スルトキハ正服ヲ着用スヘシ

一 受業中ハ實習服ヲ着用スヘシ

一 外出ノ場合ニ於テハ正服ヲ着用スヘシ

第三條 新入ノ學生、生徒ハ入學後一ヶ月以内ヲ限り制服ヲ着用セサルコトヲ得

第四條 研究生及短期講習生ノ服制ハ別ニ之ヲ定メス

正帽



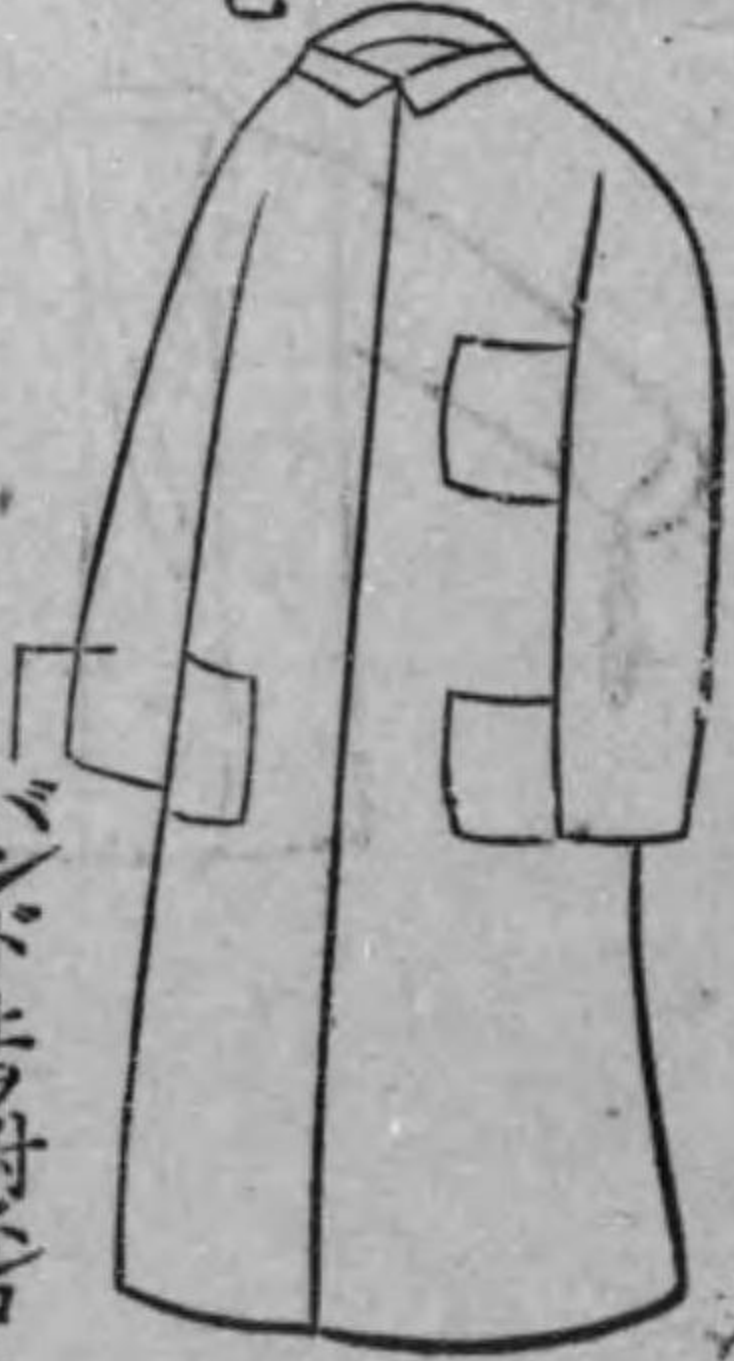
章帽



釦



實習服



バンド止ラ附ルコト

暑帽



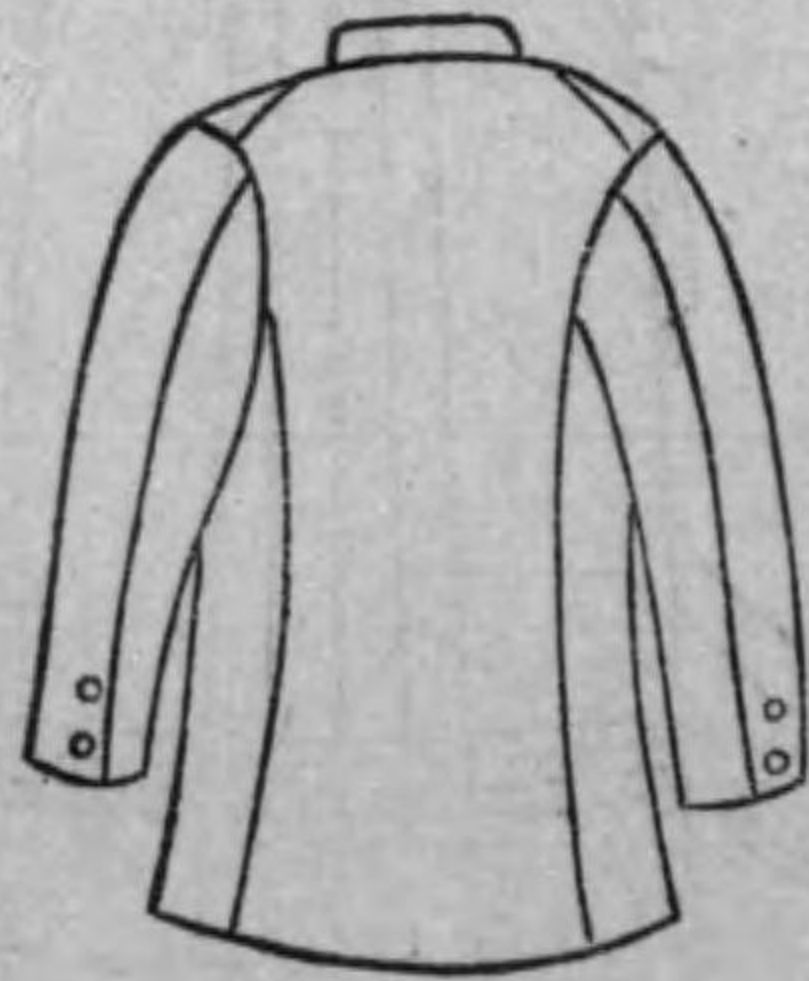
正服上衣前



正服袴



正服上衣背



生徒正袴服

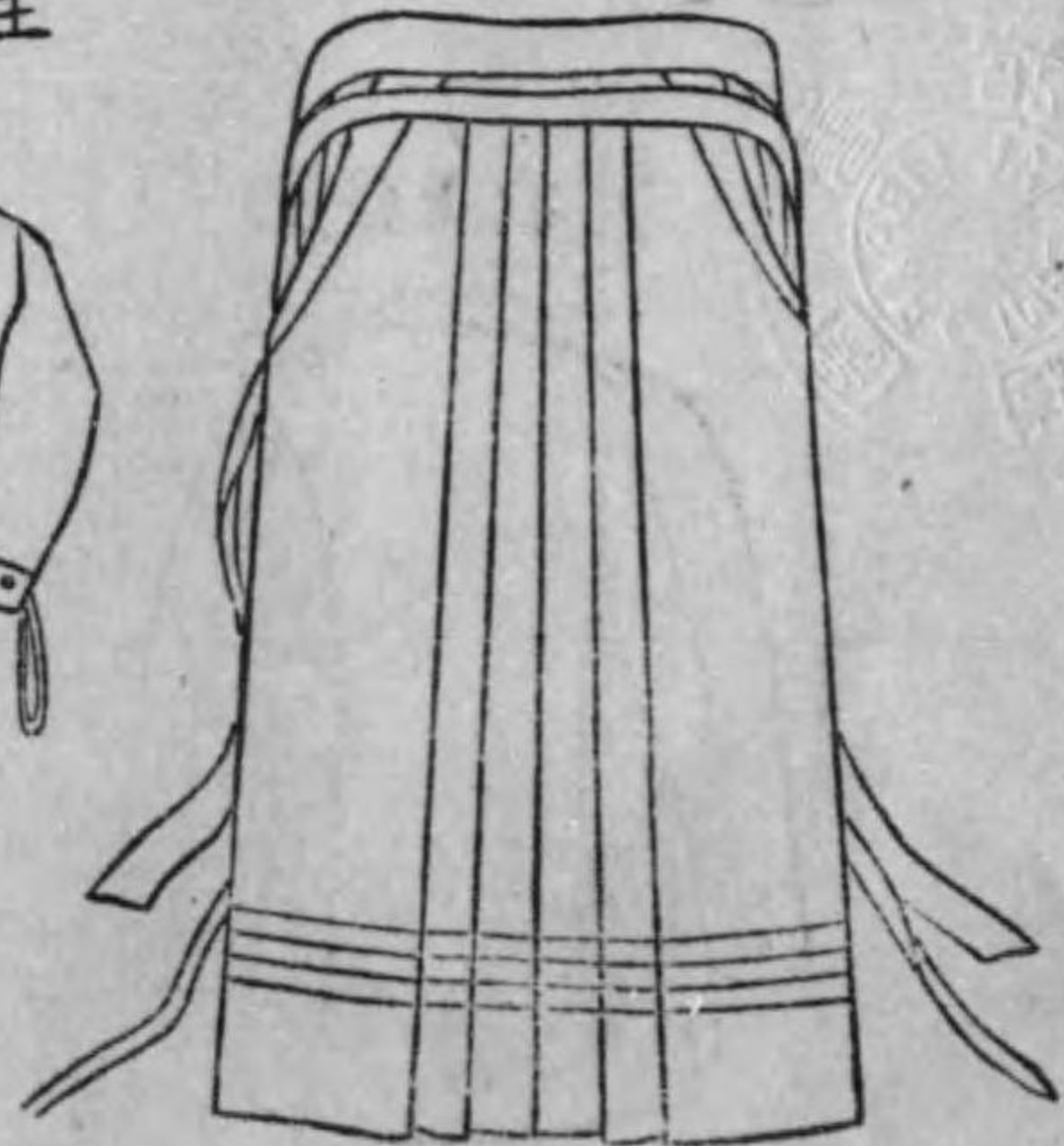


腰板ノ處白色リボンヲ附ス

生徒副級



生徒實習袴服



生徒實習上衣



級長規程

- 第一條 各科各級ニ級長及副級長各一名ヲ置ク
- 第二條 級長ハ各級學生ヲ代表シ其ノ級ノ親和ヲ圖リ命令ノ傳達其ノ他ヲ掌ルモノトス
- 第三條 副級長ハ級長ヲ補佐シ級長事故アルキトハ之ヲ代理ス
- 第四條 級長及副級長ノ任期ハ一學年間トシ每學年ノ始メニ生徒監臨席ノ上記名投票ニ依リ互選ス
- 第五條 前條ノ選舉終了シタルトキハ生徒監ヨリ其任命ヲ學校長ニ申請スヘシ學校長ハ詮議ノ上之ヲ任命ス
- 第六條 第一學年級ノ級長及副級長ハ第一學期間ニ限り學校長之ヲ指名シ第二學期ノ始ニ於テ第四條ニ依リ互選ス

寄宿舎規程

- 第一條 學生ハ本校寄宿舎ニ寄宿スルモノトス但シ本校ノ都合ニ依リ通學ヲ命シ又ハ學生ノ願ニ依リ通學ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第二條 學生ハ勤儉ヲ旨トシ禮儀公德規律衛生ヲ重シ火ノ元ニ注意スヘシ

第三條 寄宿舎は毎年八月三十日ニ開キ翌年八月十五日ニ閉ツ

第四條 學生ハ入舎ノ際保證人連署ノ在舎證書ヲ學生課ヲ經テ學校長ニ差出スヘシ

第五條 疾病其ノ他己ムヲ得サル事由ノ爲退舎セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ

願出ツヘシ但シ疾病ニ因ルモノハ學校醫ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第六條 寄宿舎ハ之ヲ若干部ニ分チ各部ニ總代、副總代各一名ヲ置ク

第七條 總代及副總代ハ部屬學生ノ互選ニ依リ生徒監之ヲ選任ス其ノ任期ハ一學年間トス

第八條 總代ハ生徒監ノ旨ヲ受ケ舎内ノ風紀衛生ニ注意シ且命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌

ル

副總代ハ總代ヲ補佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス

第九條 起床就床ノ時限ハ季節ニ應ジ之ヲ定ム

第十條 點檢ハ朝夕及臨時ニ生徒監之ヲ行フ

第十一條 寄宿生ハ毎月一回指定ノ日時ニ於テ大掃除ヲナシ生徒監ノ檢査ヲ受クヘシ

第十二條 出入ハ必ス正門ニ依リ門衛所ニ設ケアル各自ノ名札ヲ表裏ヲ以テ其在否ヲ明ニスヘシ

第十三條 外出時限ハ左ノ如シ

本科

一 平日 放課後ヨリ午後八時迄

一 土曜日 放課後ヨリ午後十時迄

一 休業日 午前七時ヨリ午後八時迄

製絲教婦養成科

一 休業日 午前七時ヨリ午後五時迄

但シ時宜ニヨリ伸縮スルコトアルヘシ

第十四條 外出中己ムヲ得サル事故ノ爲歸舎時限ニ遅レタルトキハ其事由ヲ詳記シ直ニ生徒監ニ届出
ヘシ

第十五條 歸省又ハ己ムヲ得サル事故ノ爲臨時外出若クハ外泊セントスル者ハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受
クヘシ

第十六條 外泊ノ許可ヲ得タル者ハ歸舎ノ際外泊先ノ證明書ヲ得テ之ヲ生徒監ニ差出スヘシ

第十七條 第十五條ノ手續ヲ經ルノ違ナクシテ外泊シタル者ハ外泊先ノ證明書ニ始末書ヲ添ヘ保證人

連署ニテ生徒監ニ届出ツヘシ

第十八條 疾病ノ兆候アル者ハ總代ヲ經テ生徒監ニ申出テ學校醫ノ診斷ヲ受クヘシ

第十九條 診斷ノ結果靜養ヲ要スル者ハ休養室ニ入ラシメ重症又ハ傳染病ナルトキハ退舎セシム

第二十條 火災其ノ他非常ノ事變アル場合ニハ生徒監及職員ノ指揮命令ニ從ヒ機宜ノ行動ヲ執ルヘシ

學生通學規程

- 第一條 學生ニシテ通學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ生徒監ニ願出ツヘシ
- 第二條 通學生ハ別記ノ書式ニ依リ其ノ宿所ヲ生徒監ニ届出ヘシ宿所變更ノ場合モ亦同シ
- 第三條 通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認メタルトキハ轉宿セシム
- 第四條 通學生ニシテ歸省又ハ旅行等ヲ爲サントスルトキハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

書式

宿 現 家ノ在現	宿所主人 何郡何村何番地何某	宿 所 届			宿所主人ノ何
		住 所 氏 名	年 齡	職 業	
同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同

所	人履及族	同	同	同	同
---	------	---	---	---	---

右及御届候也

年 月 日

何科何學年

保 證 人 氏 名 印

保 證 人 氏 名 印

宿所主人 氏 名 印

生徒監何某殿

圖書取扱規程

第一條 本規程ニ於テ圖書ト稱スルハ書籍、小冊子、報告、定期刊行物、圖書、圖幅及圖表ノ類ヲ

謂フ

第二條 圖書ノ管守ハ圖書標本課長其責ニ任ヌ但シ貸與中ノ圖書ハ借覽者之カ管守ノ責ニ任ヌ

諸規程

第三條 圖書標本課長ハ圖書ノ出納及整理ヲ爲スヘシ

第四條 圖書ハ左ノ二類ニ區別シテ之レヲ整理スヘシ
一 備品 (永久保存ノ必要アルモノ)
二 消耗品 (一時限リ必要アルモノ及定期刊行物及重要記事ニシテ合綴ノ上備品トナ
スヘキモノ)

第五條 寄贈ノ圖書ハ一ヶ月毎ニ前條ノ二項ニ區別シ納入請求書ヲ製作シ物品會計官吏ヲ經テ受入
ノ手續ヲ爲スベシ

第六條 消耗品中保任ノ必要アルモノハ物品會計官吏ニ引繼キ備品ニ組替ノ請求ノ爲スヘシ

第七條 消耗品中不用ニ屬スルモノハ翌年度二ヶ月以内ニ之ヲ物品會計官吏ニ返納ノ手續ヲ爲スヘ
シ

第八條 圖書標本課長ハ前條ノ圖書整理ノ爲メ圖書管守簿、圖書類別簿、圖書貸與簿、委托及借入
圖書管守簿及消耗圖書受拂簿ヲ設クヘシ

第九條 圖書標本課長ハ圖書借覽規程ニヨリ圖書ノ貸出ヲ爲スヘシ
第十條 圖書ノ亡失毀損アルトキハ各責任者ハ直チニ其事實ヲ詳記シタル願末書ヲ調製シ物品會計
官吏ヲ經テ學校長ニ申告スヘシ

職員

(大正三年十二月一日現在)

學校長

正五位勳五等農學士

本多岩次郎 東京

教授

蠶業汎論

(兼) 學校長

本多岩次郎 東京

微生物學

(兼) 農事試驗場技師
從五位勳二等農學士

上田榮次郎 大分

蠶繭論、纖維論、製絲用水論、繭審査

製絲科 主任 從五位農學士

中村雅次郎 香川

養蠶論、春蠶飼育

生徒監 學生課長 正六位

土屋 泰山 梨

蠶業汎論

(兼) 農商務技師
正六位農學士

明石 弘 東京

實驗遺傳學

(兼) 蠶業試驗場技師
正七位農學士

森繁太郎 奈良

製絲經營論

(兼) 蠶業試驗場技師
正七位

松下憲三郎 京都

植物病理學、桑樹栽培論、桑樹栽培

養蠶科 主任 正七位農學士

鈴木英亮 茨城

測量製圖、機械學、測量製圖實習

製圖實習、汽機汽鐘取扱

長澤寸美 遠東京

殺蠶貯繭論、殺蠶貯繭、殺蠶乾繭

理科 製絲機械

小松 豊作 長野

職員

七三

職員

蠶體兩理論、蠶體病理、養蠶法
蠶兒飼育
化學、化學實驗、土壤及肥料學
野蠶製絲論、野蠶繭製絲

助教

養蠶法、蠶種論、蠶種製造、
蠶具製造、蠶種審查
工場管理論、工場管理、繭審查
足踏及座經製絲、繭
製絲法、繭整理論、生理審查、製絲、繭整理
繭、工場管理法及衛生、工場管理

昆蟲學

算術、殺蛹貯繭法、殺蛹貯繭、繭審查

簿記、屑絲整理法及野蠶繭製絲法
生絲審查、屑繭整理及野蠶繭製絲

講師 (囑託日付順)

植物學、植物學實驗

物理學

氣象學

經濟學、簿記、商事要項

數學

七四

從七位 岩淵平介 岩手
生徒監 從七位 農學士 三室戶善光 京都

教務課長

坪井啓作 靜岡
岡戸一榮 埼玉
卷島庄之助 茨城
丹羽四郎 東京

圖書標本課長

鈴木謙二 靜岡
高坂周一 岐阜

動八等

野村查太郎 石川
淺野肇 千葉
吉田得一 愛知
小林行昌 長野
山川弘毅 埼玉

伊太利マビア大學
ヨペロ、ドツチエナ
陸軍教授 理學士
正六位勳四等
中央氣象臺技師
正一位理學士

商業學士

第一高等學校教授
從五位勳三等理學士

生理化學

工場衛生論

法規

色染及機織論、捻絲及紡績論

修身

國語漢文、英語、國語

英語、佛語、獨乙語

養蠶論、夏蠶飼育、秋蠶飼育

化學、農學大意、生理化學、化學實驗

動物學、蠶體解剖及蠶體生理論
動物學實驗、蠶體解剖實驗

桑樹栽培

農業經濟及農政學

纖維論

製絲論、製絲法、生絲貿易論
機織製絲、生絲整理

法規

東京帝國大學農科大學教授
從五位勳六等農學博士農學士

醫學士

農商務技師
正七位

東京高等工業學校助教授
陸軍歩兵少尉正八位勳六等

文學士

文學士

正七位

農學士

農學士

農學士

農學士

農學士

從七位

法學士

麻生慶次郎 東京

石原修 東京

鹽谷清多郎 石川

太田勤治 宮城

村上辰午郎 東京

高木市之助 愛知

大西克禮 愛媛

橫田長太郎 新潟

波多野岩吉 北海

伊東廣雄 長野

江森保彦 福島

立岩亨 福島

萩原清彦 東京

山本竹藏 京都

森戸辰男 廣島

七五

職員

職員
修身

從六位 下田たつ 靜岡 七六

書記

庶務課長 勳七等 戀田 六造 廣島
會計課長 勳七等 齋藤力之助 秋田
會計課 山口角之丞 東京
教務課 中野 信正 愛媛

雇

養蠶科 吉澤 俊治 東京
教務課 所 哲 千葉
庶務課 横谷 秀藏 山梨
會計課 高橋 敏謙 秋田
會計課 北村芳太郎 福岡
學生課 櫻井孝三郎 茨城
學生課 遠山長次郎 埼玉

雇(助手)

照沼市太郎 茨城
福田岩三郎 栃木
鳥居 周藏 静岡
白柳伊三郎 静岡
赤羽明治郎 東京

雇(製絲教婦)

中條 うの 三重
白石 もと 群馬
品川 静子 島根

校醫

隨軍二等軍醫
從七位勳五等功五級

笹原 勝治 山形

嘱託

農事試験場技手

吹井健三郎 新潟 七七

職員

學生、生徒
劍道師範
弓術師範

學生、生徒
學生

七八
江森保彦福島
大内義一茨城

養蠶科三年生

島根 梶谷清
栃木 大高榮吉
靜岡 山田良夫
熊本 永田直則
靜岡 植田宇一郎
福島 引地佐六
東京 小笠原延藏
岡山 下山靜三
山梨 田村博積
秋田 吉田浩

養蠶科二年生

新潟 矢澤鐵治
鹿兒島 田島太吉
鳥取 西村武生
宮崎 織田惣七
靜岡 梅原順作
千葉 大久保四郎

學生、生徒

靜岡 富田忠二
山形 小林孝助
群馬 牛込正一
埼玉 井口英一
愛知 今泉武
山口 堀幸也
三重 久世勸次郎

七九

臺	岩	宮	千	崎	大	福	東	富	靜	崎	愛	東	東
灣	手	崎	葉	玉	分	岡	京	山	岡	玉	知	京	京
廖	森	海	中	鎌	橋	宮	星	山	大	黒	加	米	重
廖	萩	東	島	田	本	崎	澤	口	石	澤	藤	村	信
化	泰	初	莊	辰	喜	義	康	政	信	俊	敏	正	常
金	忠		治	次	德	尙	鎮	東	一	一	郎	雄	正

養蠶科一年生

山	宮	廣	靜	靜	富	福	福	長	岡	崎	山	鳥
梨	城	島	岡	岡	山	岡	井	野	山	玉	梨	取
內	壺	村	深	林	佐	中	小	山	井	田	早	足
藤	谷	田	田		渡	村	林	內	上	口	川	立
壽	喜	聖	亮	衛	良	辰	智	源	義	惣	爵	美
	兵		平		吉	次	雄	登	夫	一郎	識	佐
	衛					郎						男

福島	郡司保藏
富山	平田四郎右衛門
宮崎	宮河滿宗
鹿兒島	原口義文
岐阜	稻熊眞市
支那	蔣留學生

製絲科三年生

愛媛	横井榮三
鳥取	仲田友一
山口	福本福三
静岡	鈴木軍一郎
東京	吉井又四郎
神奈川	星野茂之助
群馬	齋藤六佐

製絲科二年生

岡山	小坂繁雄
兵庫	大西虎助
山口	林速水
北海道	和久安弘
三重	中村安吉
大分	應崎貫一郎
埼玉	吉田二郎
東京	中川辰之介
福島	島良三
栃木	櫻井一郎
福岡	高城道信
愛知	犬塚力松
宮城	森要一

茨城	愛知	鹿兒島	長崎	千葉	神奈川	鹿兒島	三重	東京	大分	廣島	神奈川	山梨	東京	栃木
中野	前川	小玉	有岡	鈴木	佐藤	松本	川口	土屋	香下	石川	船橋	近藤	大島	刀川
武夫	良吉	敬三	淺太郎	要太郎	靖夫	新吉	新吉	兼三	徹心	川修	鼎吉	正三	邦雄	格頼

東京 大竹 操

製絲科一年生

群馬	埼玉	福井	東京	埼玉	茨城	東京	静岡	富山	愛知
堤友吉	樋口次郎	安居甫	川崎博次	峯岸要作	栗原幾藏	師川敬太郎	池田五郎	和久田唯雄	追分公次
									石川賄一郎

八六

支那	福島	岡山	宮城	山梨	長野	埼玉
留學生	青島	山本	河東	坂倉	宇佐	島田
李金輝	田正廣	辰武	東辰雄	倉芳平	佐美左助	嘉吉

製絲教婦養成科二年生

山形	長野	島根	新潟
原谷	犬飼	前田	山井
セイ	操	チヨノ	キヨ

製絲教婦養成科一年生

山梨	埼玉	長野	長野	長野	長野	石川	長野	島根	福島	新潟
三浦	中庭	村山	市川	池上	藪原	加茂	丸山	原千	守家	山口
ます	れん	うまの	さし	さだ	を	きよ	すみ	代	孝	政

鹿兒島	鹿兒島
關	田畑
百代	テ

茨城	千葉	新潟	愛媛	高知	長野	福島	廣島	高知	福島	岩手	鹿兒島	三重	山形	埼玉
小松崎まつ	渡邊ちやう	渡邊ミイ	村上ツルヨ	小島菊惠	大石みさね	増子トキ	岩木キクノ	岡本以士世	堀内ヤエ	青柳タマ	佐藤タセ	堀かすね	沖津まつ	茂木美代じ

臺灣	臺灣	長崎	埼玉	支那	三重	徳島	岐阜	茨城	長野	山形	岡山
李阿保	朱錦文	古川恒治	黒瀬國三郎	張麗霞	城くま	小野サカエ	曾我さだ	安藤みちを	木内あきの	高橋忍い	牧原幸

選科生(養蠶科)

選科生(製絲科)

卒業生

蠶種検査法検定試験及第者

明治二十一年

蠶病消毒法講習生

明治三十四年

同 三十五年

同 三十六年

計

「フォルマリン」検定法講習生

明治三十九年

同 四十年

計

製絲短期講習生

明治四十年

同 四十一年

同 四十二年

九四

四九

四〇

五三

五〇

一四三

一六

一四

三〇

三六

三四

三三

同 四十三年
同 四十四年
同 四十五年
大正二年
大正三年
計

三六
四一
四三
四五
四七
三一五

外國留學生

年次	國別	修業科別	人数
明治三十二年	同 韓	同 養	二
同 三十三年	同 清	同 同	一
同 三十四年	同 韓	同 同	一
同 三十五年	同 清	同 同	三
同 三十六年	同 清	同 同	一
同 三十七年	同 清	同 同	二

卒業生

九五

同	同	同	同	同	同	同	同
三十八年	三十九年	四十年	四十一年	四十二年	四十三年	四十四年	四十五年
清	清	清	韓	清	清	清	清
朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮
國	國	國	國	國	國	國	國
同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同
蠶絲	蠶絲	蠶絲	蠶絲	蠶絲	蠶絲	蠶絲	蠶絲
一	一	一	一	一	一	一	一
三	三	三	三	三	三	三	三
六	六	六	六	六	六	六	六
一	一	一	一	一	一	一	一
四	四	四	四	四	四	四	四

土地建物

土地

敷地及桑園	敷地及桑園	敷地及桑園	敷地及桑園	敷地及桑園
同敷計	同敷計	同敷計	同敷計	同敷計
東京府北豐島郡澁野川町 同府西原郡同町 同府南足立郡江北村 同府沼田	東京府北豐島郡澁野川町 同府西原郡同町 同府南足立郡江北村 同府沼田	東京府北豐島郡澁野川町 同府西原郡同町 同府南足立郡江北村 同府沼田	東京府北豐島郡澁野川町 同府西原郡同町 同府南足立郡江北村 同府沼田	東京府北豐島郡澁野川町 同府西原郡同町 同府南足立郡江北村 同府沼田
坪	坪	坪	坪	坪
一一、六六四、六一三	一一、六六四、六一三	一一、六六四、六一三	一一、六六四、六一三	一一、六六四、六一三
數	數	數	數	數
七、一〇六、〇〇〇	七、一〇六、〇〇〇	七、一〇六、〇〇〇	七、一〇六、〇〇〇	七、一〇六、〇〇〇
價	價	價	價	價
六九九、八七七	六九九、八七七	六九九、八七七	六九九、八七七	六九九、八七七
格	格	格	格	格
二、八四二、四九五	二、八四二、四九五	二、八四二、四九五	二、八四二、四九五	二、八四二、四九五

建築物

官營	官營	官營	官營	官營
有造家屋	有造家屋	有造家屋	有造家屋	有造家屋
計	計	計	計	計
坪	坪	坪	坪	坪
二、〇四〇、七一九	二、〇四〇、七一九	二、〇四〇、七一九	二、〇四〇、七一九	二、〇四〇、七一九
數	數	數	數	數
六一五、二六八	六一五、二六八	六一五、二六八	六一五、二六八	六一五、二六八
價	價	價	價	價
一一三、九七三、二二三	一一三、九七三、二二三	一一三、九七三、二二三	一一三、九七三、二二三	一一三、九七三、二二三
格	格	格	格	格
二〇、三五二、七〇四	二〇、三五二、七〇四	二〇、三五二、七〇四	二〇、三五二、七〇四	二〇、三五二、七〇四
一三四、三二五、九二七	一三四、三二五、九二七	一三四、三二五、九二七	一三四、三二五、九二七	一三四、三二五、九二七

附錄

西ヶ原蠶友會々則

第一章 名稱

第一條 本會ハ西ヶ原蠶友會ト稱シ東京高等蠶絲學校内ニ置ク

第二章 目的
第二條 本會ノ目的ハ會員ノ親睦ヲ圖リ心身ノ修養ニ力メ本校ノ校風ヲ發揚シ以テ教育ト資助トナ
スニアリ

第三章 組織

第三條 本會ハ本校ノ學生、出身者及職員ヲ以テ組織ス

第四條 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ四部ヲ置ク

庶務部

會計部

學藝部

運動部

第五條 各部ノ細則ハ其ノ部ニ於テ之ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クルモノトス

第四章 會員名譽員

第六條 會員ヲ分チテ通常會員、特別會員、及贊助會員トス

第七條 本校學生ヲ通常會員、本校出身者ヲ特別會員、本校職員ヲ贊助會員トス

第八條 本會ニ名譽員ヲ置キ本會ニ功勞アル者ヲ推戴ス

第五章 役員

第九條 本會ノ事務ヲ處理スル爲メ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名

副會長 一名

部長 四名

幹事 八名以内

委員 十八名

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルハ之ヲ代理ス

部長ハ會長ノ指揮ヲ承ケ其部ノ事務ヲ處理ス

幹事ハ部長ノ指揮ヲ承ケ其部ノ分擔事務ニ從事ス

委員ハ部長及幹事ノ指揮ヲ承ケ其部ノ分擔事務ニ從事ス

第十一條 會長ハ本校々長ヲ推戴ス

副會長ハ本校教授中ヨリ推薦ス

部長及幹事ハ本校職員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

委員ハ各級ヨリ三名之ヲ互選ス

第十二條 部長幹事及委員ノ任期ハ一ケ年トシ毎年四月廿日ニ始マリ翌年四月十九日終ル

第六章 總會、役員會

第十三條 總會ハ毎年一回四月ニ之ヲ開キ會務及會計ノ報告ヲナスモノトス

第十四條 役員會ハ隨時之ヲ開キ左ノ事項ヲ評決スルモノトス

豫算ノ編成

本會規則ノ改正

其他重要ナル事項

第十五條 役員會ハ役員過半数ノ出席ヲ要ス

第十六條 役員會ニ於テハ會長之カ議長トナルモノトス

第七章 會計

第十七條 本會々計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第十八條 通常會員ハ會費トシテ毎年金四圓ヲ左ノ三期ニ分チ納付スルモノトス 但シ休學中ノ者ハ納付ヲ要セス

四月 一圓五十錢

九月 一圓五十錢

一月 一圓

第十九條 通常會員ハ入會ノ際第一期ノ會費ト共ニ入會金トシテ金一圓ヲ納付スヘキモノトス

第二十條 特別會員ノ會費ハ金拾圓トシ一時ニ之ヲ納付スルモノトス

第二十一條 通常會員在學中特別會員ノ會費トシテ會費分納期ニ金壹圓ツ、及卒業ノ際金壹圓ヲ納付スルモノトス

第二十二條 贊助會員ハ會費トシテ毎月俸給若クハ手當ノ百分ノ一ヲ納付スルモノトス

第二十三條 既納ノ入會金及會費ハ如何ナル事情アルモ之ヲ還付セス 但シ通常會員退會ノ際ニ限り既納ノ特別會員費ヲ還付ス

第二十四條 本會ノ經常費ハ通常會員及贊助會員ノ會費並ニ基本金ノ利子ヲ以テ之ヲ支辨ス

第二十五條 經常費ノ剩餘金ハ基本金ニ編入ス 但シ役員會ノ決議ヲ經テ繰越金トナスコトヲ得

第二十六條 本會ニ基本金ヲ置キ左ノ釀出金及剩餘金ヲ以テ之ニ充ツ

一 通常會員ノ入會金

二 特別會員ノ會費

三 有志者ノ寄附金(費途ヲ指定シタルモノハ此ノ限リニアラス)

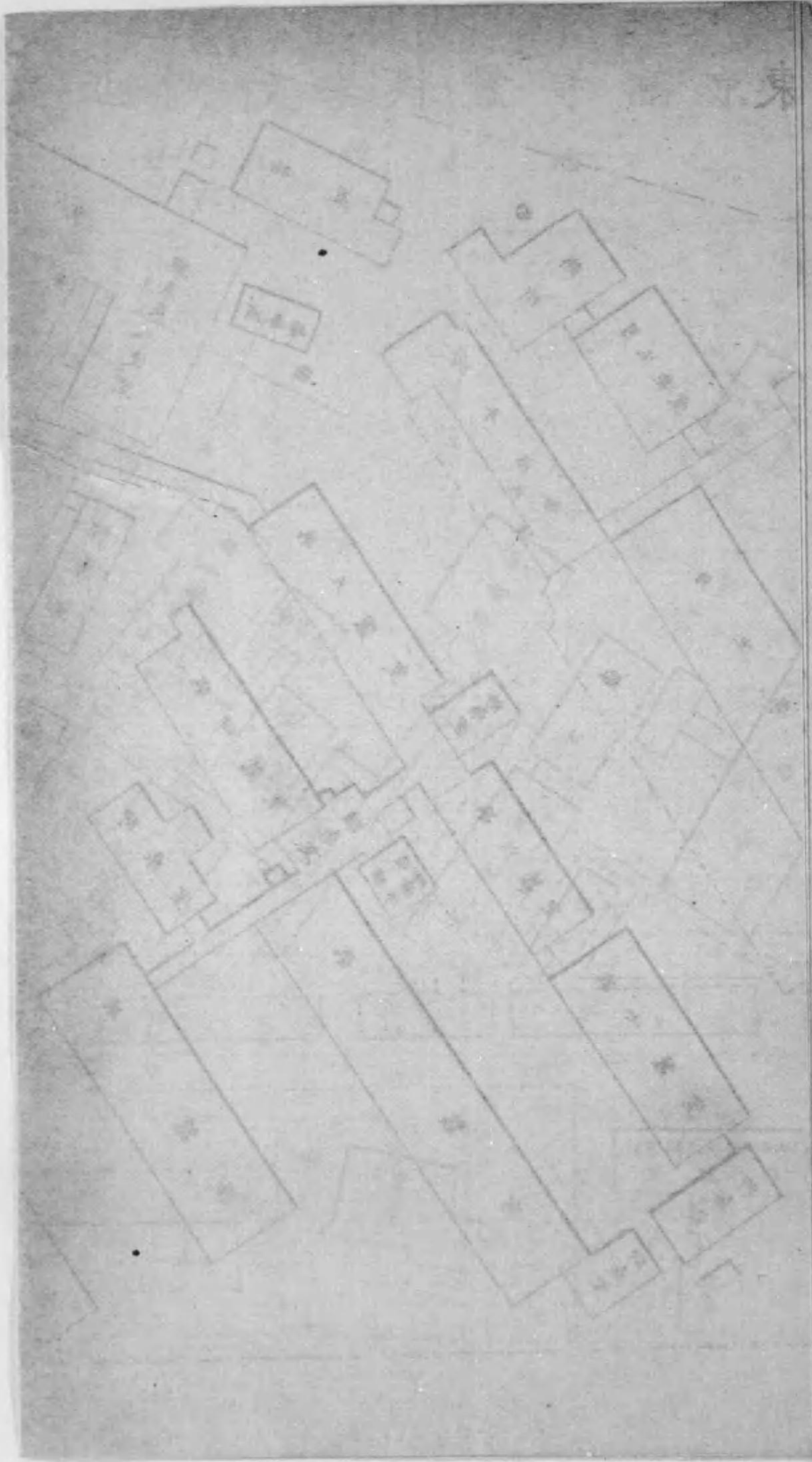
附 録

四 經常費ノ剩餘金

第廿七條 基本金ヲ支出セントスルトキハ役員會ノ決議ヲ經ルヲ要ス

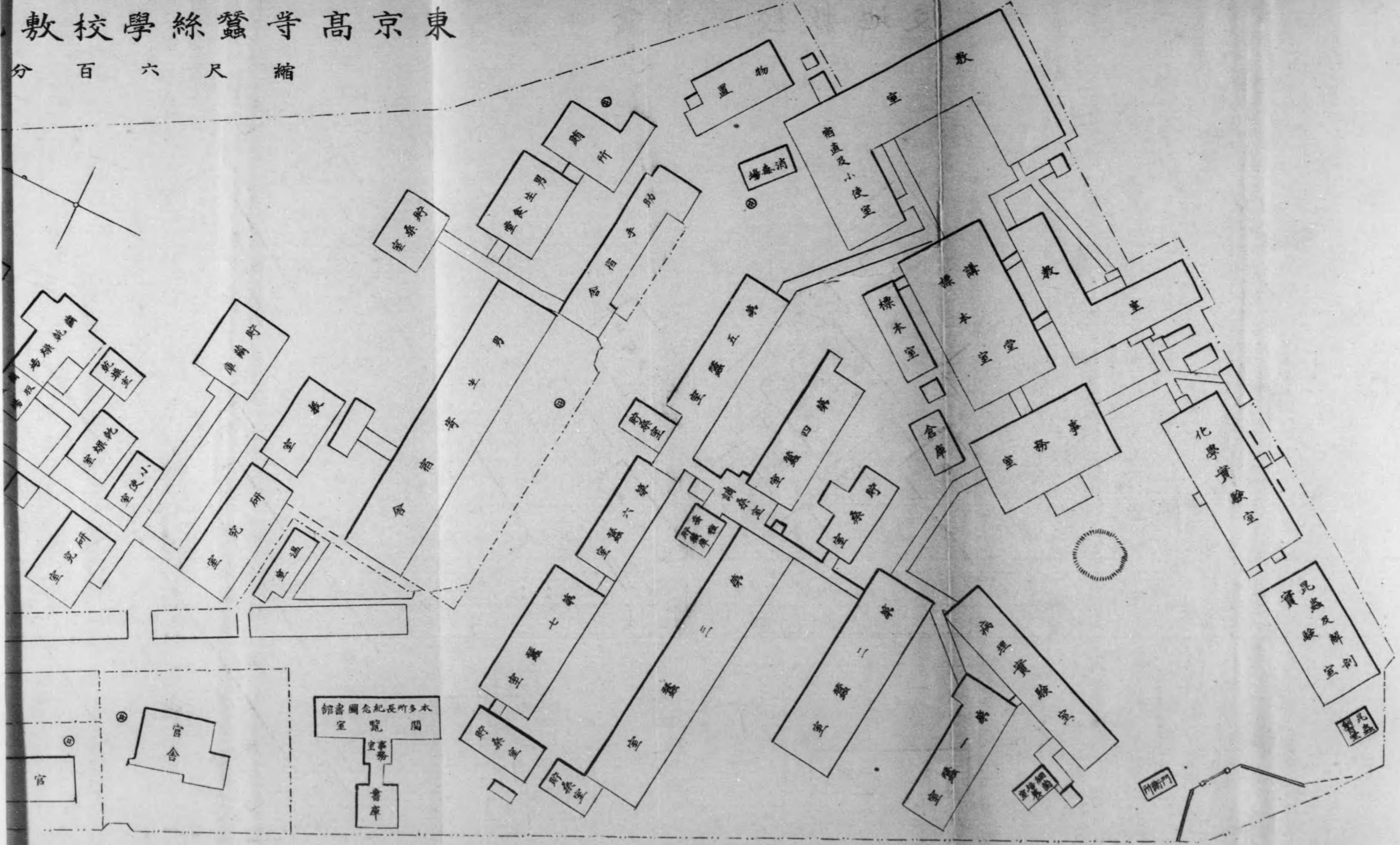
雜 則

第廿八條 本會々員ニシテ其ノ本分ニ背キ義務ヲ盡サ、ル者ハ役員會ノ決議ニヨリ除名ス



東京高等蠶絲學校敷圖

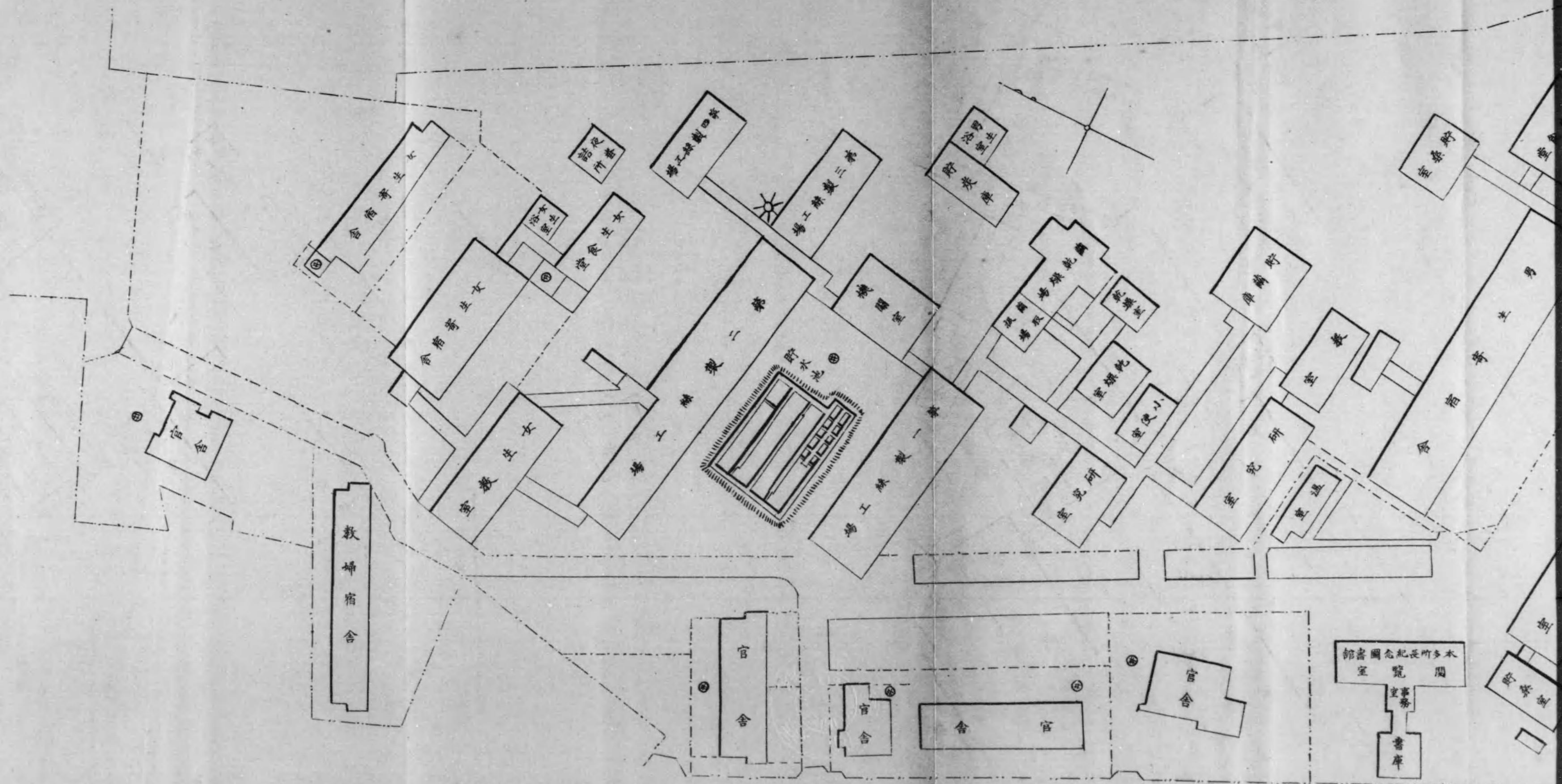
縮尺六百分



東京高等蠶絲學校敷圖

東京高等蠶絲學校敷地及建築物圖

縮尺六百一



大正三年十二月十五日印刷
大正三年十二月十七日發行

編輯者兼
發行者

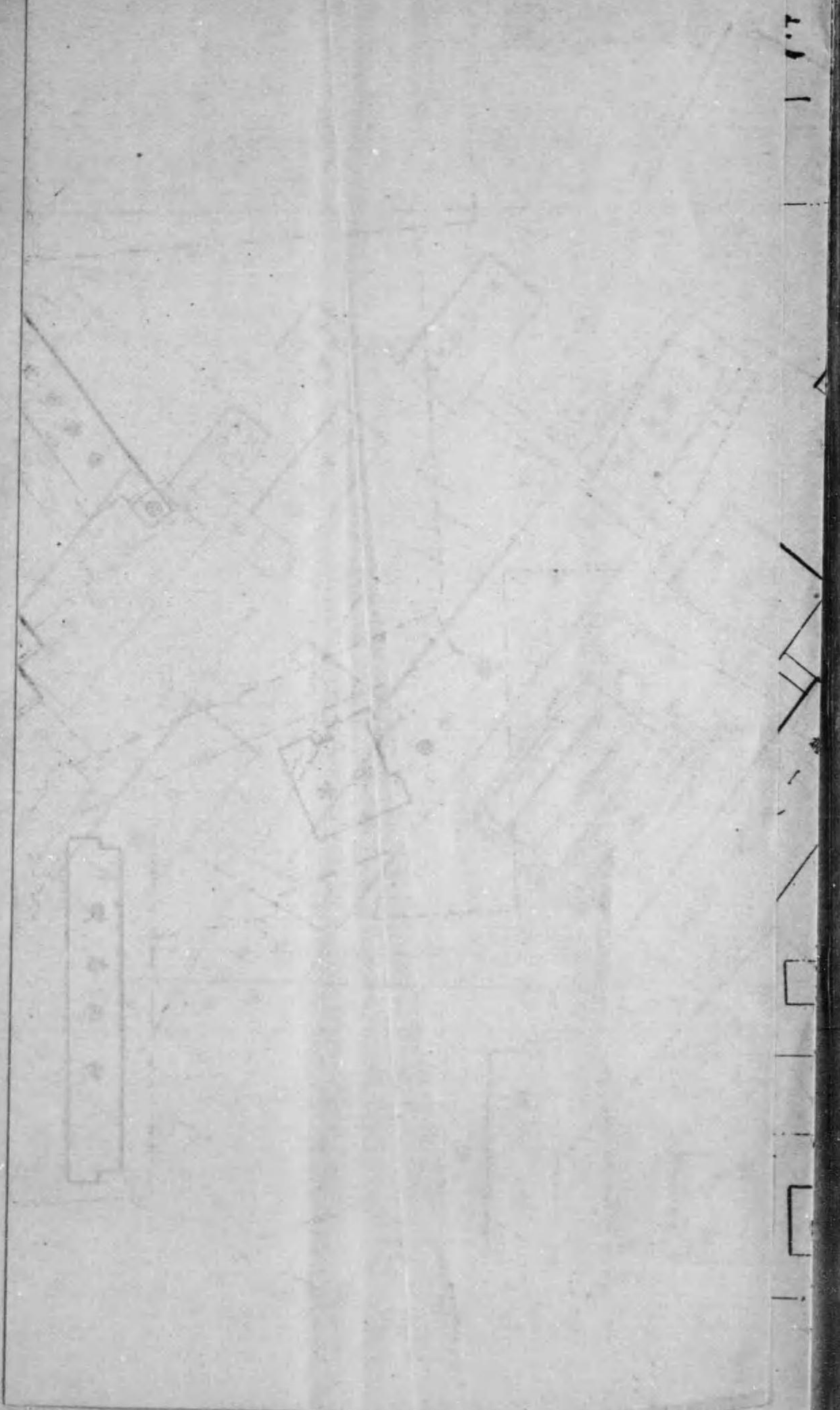
東京高等蠶絲學校

東京府下巢鴨宮仲一八九四番地

印刷人 森川專之助

東京市本郷區本郷四丁目三十九番地

印刷所 二原堂活版所



終

